

2013 年秋季年会

年会プログラム

於 東北大学

2013 年 9 月 10 日 (火) ~ 9 月 12 日 (木)

日本天文学会

日本天文学会 2013 年秋季年会プログラム

期 日 2013 年 9 月 10 日 (火) ~ 9 月 12 日 (木)

場 所 東北大学 (宮城県仙台市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2013 年 9 月 9 日 (月) ~ 9 月 12 日 (木) >

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
9月10日 (火)	A	受付		J2. 高密度星	昼休み (理事会)	ポスター		J2./J1. 高密度星	天文教育 フォーラム (B会場)			
	B			S. 銀河核				S. 銀河核				
	C			L. 太陽系				Q. 星間現象				
	D			K. 超新星爆発				K. 超新星爆発				
	E			Y. 教育・他				Y. 教育・他 / M. 太陽				
	F			V1. 地上観				V1. 地上観				
	G			U. 宇宙論				U. 宇宙論				
	H			P1. 星・惑星				P1. 星・惑星				
	I			A. CMBPο				A. CMBPο				
	J			W2. 飛翔観				W2. 飛翔観				
9月11日 (水)	A	受付	J1. 高密度星	昼休み (代議員総会)	ポスター		J1. 高密度星	会員 全体集会				
	B		S. 銀河核				N. 恒星					
	C		Q. 星間現象				Q. 星間現象					
	D		X. 銀河形成				X. 銀河形成					
	E		M. 太陽				M. 太陽					
	F		V1. 地上観				R. 銀河					
	G		V2. 地上観				V2. 地上観					
	H		P1. 星・惑星				P1. 星・惑星					
	I		P2. 星・惑星				P2. 星・惑星					
	J		W1. 飛翔観				W1. 飛翔観					
9月12日 (木)	A	受付	J1. 高密度星	昼休み	ポスター		J1. 高密度星					
	B		N. 恒星				N. 恒星					
	C		Q. 星間現象				Q. 星間現象					
	D		X. 銀河形成				X. 銀河形成					
	E		M. 太陽				M. 太陽					
	F		R. 銀河				R. 銀河					
	G		V2. 地上観				V2. 地上観					
	H		T. 銀河団									
	I		P2. 星・惑星				P2. 星・惑星					
	J		W1. 飛翔観				W1. 飛翔観					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A会場：講義棟B棟1F (B101)
 B会場：講義棟B棟1F (B102)
 C会場：講義棟B棟1F (B103)
 D会場：講義棟B棟1F (B104)
 E会場：講義棟B棟2F (B201)
 F会場：講義棟B棟2F (B202)
 G会場：講義棟B棟2F (B203)
 H会場：講義棟B棟2F (B204)
 I会場：講義棟B棟2F (B200)
 J会場：講義棟C棟2F (C200)

受 付：講義棟B棟1F (談話室)
 ポスター会場：講義棟C棟1F~2F (C101~C206)
 展示コーナー：ポスター会場2 (C102)
 会 議 室：講義棟C棟(303、304号室)
 会員全体集会：マルチメディア教育研究棟
 (206号室「マルチメディアホール」)
 懇 親 会：川内の杜ダイニング

◎講演数

講演数：合計 752

(口頭講演 (a)：495、ポスター講演 (b)：197、ポスター講演 (c)：60)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (講義棟 B 棟 1F 談話室)

○参加登録受付時間：9月10日 10:00～16:00

9月11日 09:00～16:00

9月12日 09:00～13:30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、9月10日の 10:00 から 9月12日の 13:30 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦 180 cm×横 90 cm です。

3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月10日	17:00～18:30	B会場	天文教育フォーラム
9月11日	16:00～17:00	マルチメディア教育研究棟	会員全体集会
	17:30～	川内の杜ダイニング	懇親会
9月14日	13:30～17:00	東北大学 片平キャンパスさくらホール	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
9月10日	13:00～14:40	会議室	理事会	D
9月11日	11:30～12:30	B会場	代議員総会	D
	11:30～12:30	C会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30～12:30	G会場	宇宙電波懇談会会合	C
	11:30～12:30	H会場	女性天文研究者の会	A
9月12日	11:30～12:30	B会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30～12:30	C会場	日本 SKA コンソーシアム会合	B
	11:30～12:30	D会場	光学赤外線天文連絡会総会	C
	11:30～12:30	E会場	太陽研究者連絡会	C

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎天文教育フォーラム

主催：日本天文学会、天文教育普及研究会

テ ー マ：新時代の天文学広報戦略 ～大型プロジェクトの取り組みから～

日 時：2013年9月10日（火）17：00～18：30

場 所：B会場

概 要：現在、天文学の大型プロジェクトが次々と進行する中で、その取り組みの重要性や成果を広くアピールしていくことは、国民への説明責任を果たすこととともに、天文学への興味関心を深める契機として重要です。もちろん、こうした広報活動は大型プロジェクトのみではなく、各研究機関や研究者の各現場においても不可欠なことであり、また天文教育・普及関係者もいち早く情報を得て、内容を理解することが求められます。

今回は、大型プロジェクトにおける教育・広報普及活動の取り組みを紹介していくとともに、効果的な広報戦略の手法を議論していきます。より広く天文学の活動を国民に伝えられる契機となる場にしたいと思います。

プログラム：＜話題提供＞

1. JAXA 宇宙科学研究所における取り組みから 阪本成一（宇宙航空研究開発機構）
2. ALMA における取り組みから 平松正顕（国立天文台チリ観測所）
3. TMT における取り組みから～club TMT を中心に～ 本間隆幸（府中市郷土の森博物館 / club TMT 代表）

参 加 費：天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実 行 委 員：大山真満（滋賀大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）、高梨直紘（東京大学）、高田淑子（宮城教育大学）

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ：「宇宙は伊達じゃない！？－仙台からたどる宇宙の誕生から惑星形成－」
(<http://www.astr.tohoku.ac.jp/ASJ/talk.html>)

日 時：2013年9月14日（土）13時半～17時（開場：13時）

場 所：東北大学片平キャンパスさくらホール
(<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/general/access/sakura-j.html>)

対 象：中学生以上・一般向け（小学生以下でも特に希望する人なら参加できます。）

概 要：仙台は七夕祭りも行われ、また、仙台市天文台という全国でも有数の施設を持ち、宇宙や星への関心が高い都市であるといえます。今回の講演会では、宇宙に興味を持つ市民の方にもなじみやすく、また、天文学研究者にとっても最前線の研究テーマを織り交ぜて、幅広い聴衆とともに宇宙の謎解きのおもしろさを味わうひと時としたいと考えます。是非、ご参加ください。

内 容：講演1：「仙台における天文普及活動－仙台市天文台の60年」 土佐 誠（仙台市天文台）
講演2：「すばるでさぐる宇宙のダークサイド、暗黒物質と暗黒エネルギー」 二間瀬敏史（東北大学）
講演3：「星くずから地球へ」 小久保英一郎（国立天文台）

申 込：事前の参加申し込みは不要。入場無料。当日会場にて受付してください。ただし、会場定員150名を超える場合には、入場制限をかけることもあります。駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。

◎ ALMA 展示ブース : ALMA データ閲覧用 VO システムのデモ

日 時 : 天文学会期間内 (ALMA 特別セッション開催時を除く)

場 所 : ポスター会場 2 (C102)

概 要 : 世界最大の電波望遠鏡 ALMA が今年から本格稼働を開始した。これまでベールに包まれていた様々な宇宙の謎の一端を、ALMA は解き明かしてくれることだろう。その期待の一方で、ALMA のデータは非常に巨大であり、また、3 ないし 4 次元の多次元データであるため、その取扱いは簡単ではない。

国立天文台では Virtual Observatory (VO) の技術を用いて、誰でも簡単に ALMA のデータを様々な角度から閲覧することのできるシステムの開発を行っている。本展示では、多くの方に本システムの存在を知って頂き、今後の天文学研究に活用して頂くことを主目的とする一方、「こういう機能が欲しい」といった、現システムに対する利用者の側からのフィードバックを得ることをも目的とする。

世 話 人 : 江口智士 (国立天文台) satoshi.eguchi@nao.ac.jp

白崎裕治 (国立天文台) yuji.shirasaki@nao.ac.jp

川崎 渉 (国立天文台) wataru.kawasaki@nao.ac.jp

◎ TMT 展示ブース : TMT 望遠鏡の試作セグメント鏡

日 時 : 天文学会期間内

場 所 : 講義棟 B 棟 1F (談話室)

概 要 : 国立天文台は次世代の超大型光赤外線望遠鏡計画として TMT(Thirty Meter Telescope) 建設の予算を得て、その建設準備を開始した。TMT プロジェクトは日本・カナダ・中国・インド・カリフォルニア工科大学・カリフォルニア大学・イエール大学の 5 ヶ国 7 パートナーの国際協力で口径 30m の超大型光赤外線望遠鏡をハワイ島マウナケア山頂に建設する計画である。TMT 望遠鏡はすばる望遠鏡とは異なり、対角 1.44m の六角形状の鏡を 492 枚合わせて有効口径 30m の主鏡を構成するセグメント鏡方式を採用する。日本の貢献の大きな柱の一つであるセグメント鏡加工の技術実証のためにフルサイズ鏡を試作し、TMT で実際に用いる支持機構への搭載を行った。このセグメント鏡の実物をメインにした TMT 望遠鏡についての展示を行う。

世 話 人 : 家 正則 (国立天文台・TMT 推進室) TEL 0422-34-3520

山下卓也 (国立天文台・TMT 推進室) TEL 0422-34-3786

青木和光 (国立天文台・TMT 推進室) TEL 0422-34-3524

秋季年会会場 東北大学川内北キャンパスのご案内

会場は東北大学川内北キャンパスです。会員全体集会会場は1、セッション・ポスター会場は2、3、食堂・懇親会会場は4です。仙台駅からのバスは東北大学川内キャンパス萩ホール前に到着します。



会場へのアクセス

会場へのアクセスは仙台駅から仙台市営バスが便利です。仙台駅前09のりばより 710, 713, 715, 718, 719, 720 系統で東北大川内キャンパス・萩ホール前下車になります。

仙台駅から徒歩でも30分程度です。晴れた日には広瀬通、青葉通を歩いてくるのも気持ち良いでしょう。

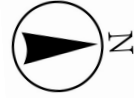
仙台市営バス

仙台駅前のりば	行き先	下車停留所(所要時間・運賃)
9番のりば	宮教大・青葉台行 青葉通経由動物公園循環	東北大川内キャンパス・萩ホール前 ㊟[2-A]下車 (約15分、運賃180円)
	川内南キャンパス経由 (急行) 東北大川内キャンパス	東北大川内キャンパス・萩ホール前 ㊟[2-A]下車 (約12分、運賃180円) ※平日午前の5便のみ
16番のりば	広瀬通経由交通公園・川内(営)行 広瀬通経由交通公園循環	川内郵便局前 ㊟[2-B]下車 (約15分、180円)

※所要時間は交通状況により異なります。

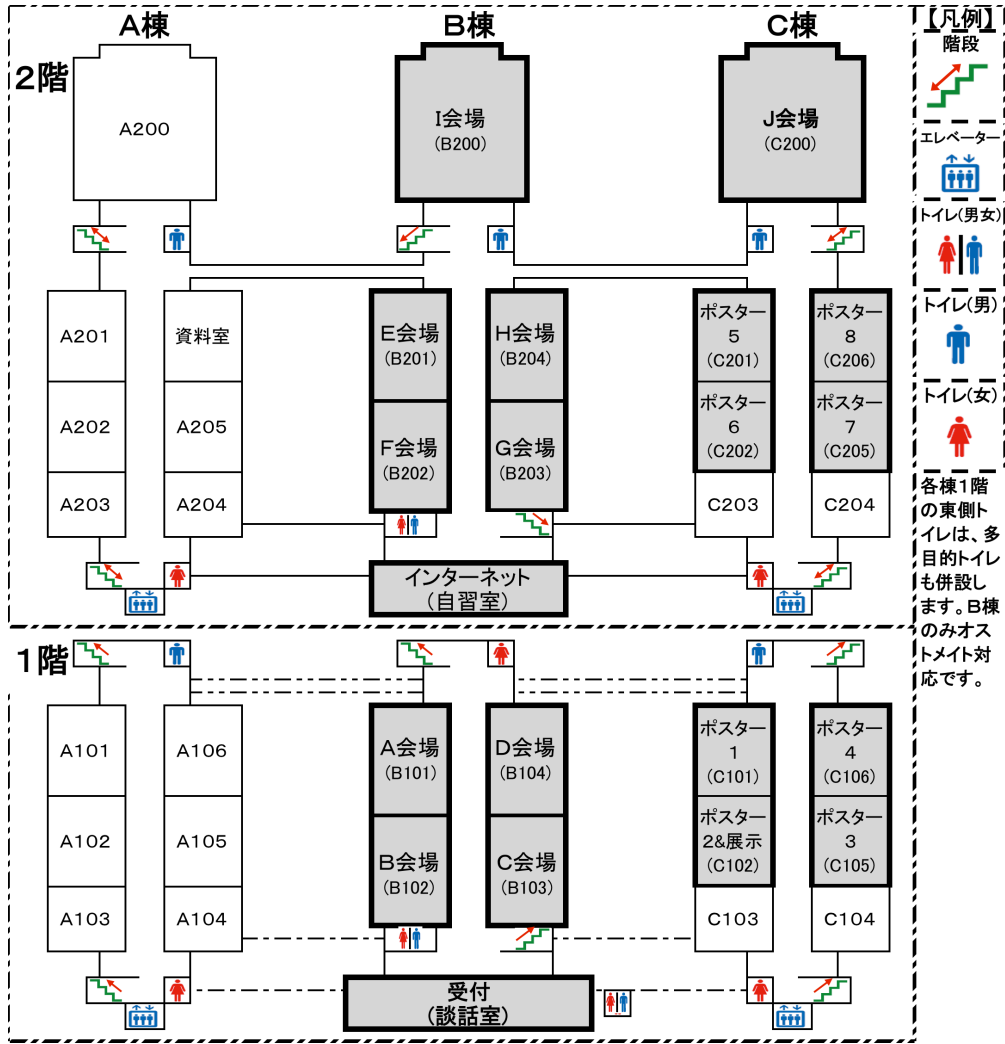
会場案内図

2-A バス停(川内キャンパス
萩ホール前)が南側



講義棟

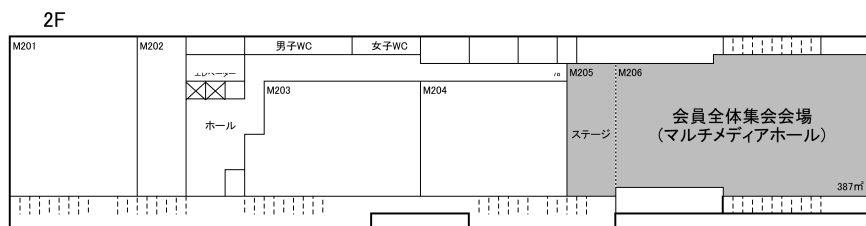
(セッション会場及びポスター会場)



3階以上には会場はありませんが、3階の C303、C304 教室を会議室として使用する事が可能です。

マルチメディア教育研究棟

(会員全体集会会場)



建物の南側に入り口があり、会員全体集会会場は2階です。

口頭セッション 9月10日(火)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【高密度星】	【銀河核】	【太陽系】	【超新星爆発】	【教育・他】	【地上観】	【宇宙論】	【星・惑星】	【CMBPo】	【飛翔観】
11:00	J201a	S01a	L01a	K01a	Y01a	V101a	U01a	P101a	A01r) A07a	W201a
11:12	J202a	S02a	L02a	K02a	Y02a	V102a	U02a	P102a		W202a
11:24	J203a	S03a	L05a	K03a	Y03a	V103b V104b V105b	U03a	P103a		W203b W204b W205b
11:36	J204a	S04a	L06a	K04b K05b K06b	Y04a	V106a	U04a	P104b P105b P106b		W206a
11:48	J205a	S05a	L07a	K07a	Y05a	V107a	U05a	P108a		W207a
12:00	J206a	S06a	L08a	K08a	Y07a	V108a	U06a	P109a		W208a
12:12	J207a	S07a	L09a	K09a	Y08a	V109a	U07a	P110a		W209a
12:24	J208a	S08a	L10b L11b L12b	K10a	Y09a	V110a	U08a	P111a		W210a
12:36	J209a	S09b S10b S11b	L13a	K11a	Y10b Y11b Y12b	V111a	U09a	P112a		W211a
12:48	J210a	-	L14a	K12a	Y13b Y14b	V112a	U10b U11b U12b	P113a		W212a
13:00	-	-	L15a	K13b	-	-	-	P114a	-	W214b
13:12	-	-	-	-	-	-	-	P115a	-	-
13:00	昼休み(理事会)									
14:00	ポスター									
開始時刻	【高密度星】	【銀河核】	【星間現象】	【超新星爆発】	【教育・他/ 太陽】	【地上観】	【宇宙論】	【星・惑星】	【CMBPo】	【飛翔観】
15:00	J211a	S12a	Q01a	K15a	Y16a	V113a	U17a	P116a	A08r) A16b	W215a
15:12	J212a	S13a	Q02a	K16a	Y17a	V114a	U18a	P117a		W216b W217b W218b
15:24	J213a	S14a	Q03a	K17a	Y20a	V115a	U19a	P118b P119b P120b		W221a
15:36	J214a	S15a	Q04a	K18a	Y21a	V116b V118b V119b	U20a	P121b P122b P123b		W222a
15:48	J215a	S16b S17b S18b	Q05a	K19a	M01a	V120b V121b V122b	U21a	P128a		W223a
16:00	J216a	S19a	Q06a	K20a	M02a	V123a	U22a	P129a		W224a
16:12	J217b J218b J219b	S20b S21b S22b	Q07a	K21a	M03a	V124a	U23a	P130a		W225b W226b W229b
16:24	J101b J102b J103b	S23a	Q08a	K22a	M04a	V125b V126b V127b	U24a	P131a		W230a
16:36	J104b J105b J106b	S24a	Q09a	K23a	M05a	V128a	U25a	P132a		-
16:48	J107b J108b	-	Q10a	K24a	M06b M07b M08b	V129b V130b V131b	U26a	P133a		-
17:00	-	-	Q11b Q12b Q13b	K25a	-	V133b	U27a	P134a	-	
17:12	-	-	Q14b	-	-	-	U28b	-	-	
17:00	天文教育フォーラム(B会場)									

口頭セッション 9月11日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【高密度星】	【銀河核】	【星間現象】	【銀河形成】	【太陽】	【地上観】	【地上観】	【星・惑星】	【星・惑星】	【飛翔観】
09:30	J112a	S27a	Q15a	X01a	M10a	V134a	V201a	P135a	P201a	W101a
09:42	J113a	S28a	Q16a	X02a	M11a	V135a	V202b V203b V204b	P136a	P202a	W102a
09:54	J114a	S29a	Q17a	X03a	M12a	V136a	V205a	P137a	P203a	W103b W104b W105b
10:06	J115a	S30a	Q18a	X04a	M13a	V137a	V206a	P138a	P204a	W106b W107b W108b
10:18	J116a	S31a	Q19a	X05a	M14b M15b M16b	V138a	V207b V208b V209b	P139a	P205a	W109a
10:30	J117a	S32a	Q20a	X06a	M17b M18b M19b	V140b V141b V142b	V211a	P140a	P206a	W110a
10:42	J118a	S33a	Q21a	X07a	M20b M21b M22b	V143a	V212a	P141a	P207a	W111b W112b W113b
10:54	J119a	S34a	Q22a	X08a	M25a	V144a	V213a	P142a	P208a	W114a
11:06	J120a	S35b S36b S37b	Q23b Q24b Q25b	X09b X10b X11b	M26a	V145b V146b V147b	V214b V215b V216b	P143b P144b P145b	P209a	W115a
11:18	J121a	-	-	X12b X13b	-	V148a	V217b	-	P210b P211b P212b	W116b W117b W118b
11:30	昼休み (代議員総会)									
12:30	ポスター									
開始時刻	【高密度星】	【恒星】	【星間現象】	【銀河形成】	【太陽】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星・惑星】	【飛翔観】
13:30	J122a	N01a	Q27a	X14a	M27a	R01a	V218a	P147a	P214a	W120a
13:42	J123a	N02a	Q28a	X15a	M28a	R02a	V219a	P148a	P215a	W121a
13:54	J124a	N03a	Q29a	X16a	M29a	R04a	V220b V221b V222b	P149a	P216a	W122a
14:06	J125a	N05a	Q30a	X17a	M30a	R05a	V223b V224b V225b	P150a	P217a	W123a
14:18	J126a	N07a	Q31a	X18a	M31a	R06a	V226a	P151a	P218a	W124a
14:30	J127a	N08b N09b N10b	Q32a	X19a	M32a	R07a	V227b V228b V229b	P152a	P219a	W125a
14:42	J128a	N12a	Q33a	X20a	M33a	R08a	V230a	P153a	P220a	W126a
14:54	J129a	N13a	Q34a	X21a	M34a	R09b R10b R12b	V231a	P154a	P221a	W127a
15:06	J130a	N14a	Q35a	X23b X24b X25b	M35a	R13b R16b R17b	V232a	P155a	P222a	W128a
15:18	J131a	N15a	Q36a	X26b X28b	M36a	R18b R20b	V234b V235b	P156a	P223a	W129b W130b W131b
15:30	-	-	Q37b,Q38b	-	-	-	-	P157a	-	W132b W133b W134b
15:42	-	-	-	-	-	-	-	P158b P159b P160b	-	W135b
16:00	会員全体集会 (マルチメディアホール)									

ポスターセッション 9月10日(火) ~ 9月12日(木)

ポスター会場 (1)

【K. 超新星爆発】(7)

K04b K05b K06b K13b K14c
K26c K27c

【L. 太陽系】(5)

L03c L04c L10b L11b L12b

【M. 太陽】(15)

M06b M07b M08b M09c M14b
M15b M16b M17b M18b M19b
M20b M21b M22b M23c M24c

【N. 恒星】(9)

N04c N06c N08b N09b N10b
N11c N21c N26b N27b

ポスター会場 (2)

【A. CMBPo】(3)

A14b A15b A16b

【J1. 高密度星】(11)

J101b J102b J103b J104b J105b
J106b J107b J108b J109c J110c
J111c

【J2. 高密度星】(3)

J217b J218b J219b

【展示コーナー】

アキリスジャパン (株)

Exelis VIS (株)

ALMA 展示ブース

ポスター会場 (3)

【Q. 星間現象】(18)

Q11b Q12b Q13b Q14b Q23b
Q24b Q25b Q26c Q37b Q38b
Q39c Q45b Q46b Q47b Q48b
Q49b Q50b Q51c

【R. 銀河】(13)

R03c R09b R10b R11c R12b
R13b R14c R15c R16b R17b
R18b R19c R20b

【最新情報コーナー】

ポスター会場 (4)

【P1. 星・惑星形成】(21)

P104b P105b P106b P107c P118b
P119b P120b P121b P122b P123b
P124c P125c P126c P127c P143b
P144b P145b P146c P158b P159b
P160b

【P2. 星・惑星形成】(12)

P210b P211b P212b P213c P232b
P233b P234b P235b P236b P237b
P238c P239c

ポスターセッション 9月10日(火) ~ 9月12日(木)

ポスター会場 (5)

【S. 活動銀河核】(14)

S09b S10b S11b S16b S17b
 S18b S20b S21b S22b S25c
 S26c S35b S36b S37b

【U. 宇宙論】(9)

U10b U11b U12b U13c U14c
 U15c U16c U28b U29c

【V1. 地上観測機器】(13)

V103b V104b V105b V116b V117c
 V118b V119b V120b V121b V122b
 V125b V126b V127b

ポスター会場 (6)

【V1. 地上観測機器】(13)

V129b V130b V131b V132c V133b
 V139c V140b V141b V142b V145b
 V146b V147b V149c

【W1. 飛翔体観測機器】(20)

W103b W104b W105b W106b W107b
 W108b W111b W112b W113b W116b
 W117b W118b W119c W129b W130b
 W131b W132b W133b W134b W135b

ポスター会場 (7)

【V2. 地上観測機器】(35)

V202b V203b V204b V207b V208b
 V209b V210c V214b V215b V216b
 V217b V220b V221b V222b V223b
 V224b V225b V227b V228b V229b
 V233c V234b V235b V242b V243b
 V244b V245c V246b V247b V248b
 V249c V251b V252b V253b V254c

ポスター会場 (8)

【W2. 飛翔体観測機器】(15)

W203b W204b W205b W213c W214b
 W216b W217b W218b W219c W220c
 W225b W226b W227c W228c W229b

【X. 銀河形成】(12)

X09b X10b X11b X12b X13b
 X22c X23b X24b X25b X26b
 X27c X28b

【天文教育・他】(9)

Y06c Y10b Y11b Y12b Y13b
 Y14b Y15c Y18c Y19c

A. 超高精度 CMB 偏光全天観測時代の天文学

9月10日(火) 午前・I会場		9月10日(火) 午後・I会場	
11:00	A01r CMB 観測による観測的宇宙論の現状と展望・(30) 市來淨與 (名古屋大学)	15:00	A08r 超高精度 CMB 偏光観測時代の長波長電波広域探査が拓く天文学・(30) 赤堀卓也 (シドニー大学)
11:30	A02r 宇宙のはじまりにどこまで迫れるか？ — 超高精度 CMB 偏光観測の現状と将来の展望・(30) 羽澄昌史 (高エネルギー加速器研究機構)	15:30	A09a 銀河ダイナモ磁気流体計算に基づくファラデー回転度分布と観測との比較・(12) 松元亮治 (千葉大学)
12:00	A03a POLARBEAR 実験による超高精度 CMB 偏光観測が切り開く宇宙論及び天文学・(12) 茅根裕司 (高エネルギー加速器研究機構)	15:42	A10a 磁気流体数値シミュレーションを用いた銀河系磁場大局構造の形成、進化の研究・(12) 服部 誠 (東北大学)
12:12	A04a GroundBIRD 実験・(12) 小栗秀悟 (高エネルギー加速器研究機構)	15:54	A11r 星間塵放射研究の新展開・(30) 土井靖生 (東京大学)
12:24	A05a 階層ベイズ法を用いた宇宙マイクロ波背景放射偏光 B モード成分の高精度分離スキームの開発(2)・(12) 森嶋隆裕 (東北大学)	16:24	A12a SGMAP: 広島大学可視偏光サーベイ計画と CMB 偏光観測への貢献・(12) 川端弘治 (広島大学)
12:36	A06a 不完全な偏光マップからの重力レンズ効果の推定法の開発・(12) 並河俊弥 (京都大学)	16:36	A13a 宇宙マイクロ波背景放射における前景成分の理解に向けて1・(12) 山本宏昭 (名古屋大学)
12:48	A07a 将来の高精度 CMB 偏光観測と 21cm 線観測によるニュートリノ質量の制限の精度・(12) 大山祥彦 (総合研究大学院大学)	16:48	A14b 宇宙マイクロ波背景放射における前景成分の理解に向けて2・(3) 岡本竜治 (名古屋大学)
		16:51	A15b 宇宙背景放射の BB mode 偏光揺らぎによる原初磁場の制限と今後の展望・(3) 山崎 大 (国立天文台)
		16:54	A16b 銀河系ヘイズのプラズマ運動論的不安定モードにより生成された銀河乱流磁場起源のジッター放射モデル・(3) 藤木和城 (東北大学)

J1. 高密度星

9月10日(火) 午後・A会場		9月11日(水) 午前・A会場	
16:24	J101b MAXIで観測した低質量X線連星パルサー 4U 1626-67 のパルス波形、パルス周期とその変化 高木利紘(理化学研究所/日本大学)	09:30	J112a MAXIが発見検出した2013年度前半の突発天体と突発現象 根来均(日本大学)
16:24	J102b MAXIによる超巨星X線連星パルサー SMC X-1, Cen X-3 の軌道周期の短縮の観測 三原建弘(理化学研究所)	09:42	J113a MAXIによるBe型伴星を持つ「LMXB」 Cir X-1 の光度曲線 浅井和美(理化学研究所)
16:24	J103b X線光度に依存したサイクロトロン共鳴線変化のモデル依存性の検証 中島基樹(日本大学)	09:54	J114a Be/X線連星 GX 304-1/V850 Cen における double-peaked outburst 時の Be 星ガス円盤の構造 森谷友由希(広島大学)
16:36	J104b 1.4GHz帯観測により得られたCrabパルサー巨大電波パルスの放射エネルギーの評価 三上諒(東京大学)	10:06	J115a Be型X線連星パルサー GRO J1008-57 からのサイクロトロン共鳴吸収線の発見 山本堂之(理化学研究所)
16:36	J105b 超強磁場中性子星マグネターの可視光帯域における観測的研究 金子健太(理化学研究所/東京理科大学)	10:18	J116a すざくによる低質量星中性子星連星 4U 1822-37 の観測 笹野理(東京大学)
16:36	J106b 「すざく」衛星のアーカイブデータを用いたX線バーストの解析—中性子星の質量半径への制限— 岩井将親(東京工業大学/宇宙航空研究開発機構)	10:30	J117a 「すざく」でみたハード状態の中性子星連星 GS 1826-238 小野光(東京大学)
16:48	J107b 中性子星風における熱化面とスペクトル 梅津寛明(大阪教育大学)	10:42	J118a はくちょう座 X-3 の輝線と放射性再結合成分の公転位相による変動 北本俊二(立教大学)
16:48	J108b コンパクト天体連星合体シミュレーションに向けた一般相対論的ニュートリノ輻射流体コードの開発(1) 関口雄一郎(京都大学)	10:54	J119a Suzaku observation of the non-dip spectrum of the dipping source XB 1916-053 Zhongli Zhang (Univ. of Tokyo)
	J109c MHD乱流のグリッドスケールでのエネルギー散逸率の評価について 廣瀬重信(海洋研究開発機構)	11:06	J120a すざくとNewtonを用いたCCO 1E1207.4-5409 のスペクトル構造の研究3 高橋一郎(青山学院大学)
	J110c Cassiopeia A 中性子星の熱進化のモデル化 林田晃太郎(九州大学)	11:18	J121a Bimodality of wind-fed accretion in high mass X-ray binaries 鴈野重之(九州産業大学)
	J111c ブラックホール候補天体の明るいハード状態における時間変動の起源 松元亮治(千葉大学)		

9月11日(水) 午後・A会場		9月12日(木) 午前・A会場	
13:30	J122a 「すざく」によるマグネターのX線定常放射の強度揺らぎの研究 中川友進(宇宙航空研究開発機構)	09:30	J132a 巨大フレア現象とクラスト振動 祖谷 元(京都大学)
13:42	J123a マグネター 4U 0142+61 のX線・赤外線観測 幸村孝由(工学院大学)	09:42	J133a 連星中性子星合体からの可視光放射 田中雅臣(国立天文台)
13:54	J124a マグネターのクラストにおけるHall定常な磁場構造 藤澤幸太郎	09:54	J134a 連星中性子星合体残骸からの高エネルギー放射 高見 一 (高エネルギー加速器研究機構)
14:06	J125a 殻に局在した磁場があるマグネターの軸性方向振動 小島康史(広島大学)	10:06	J135a 連星中性子星合体時の質量放出と観測への示唆 仏坂健太(京都大学)
14:18	J126a 電気抵抗を含む開いた磁力線をもつパルサー磁気圏 加藤祐悟(広島大学)	10:18	J136a 中性子星合体によるrプロセス元素合成 和南城伸也(国立天文台)
14:30	J127a 光子衝突による対生成の効果を含んだ多重磁場を持つ中性子星磁気圏 和田智秀(国立天文台)	10:30	J137a 中性子星合体はrプロセスの起源か: 銀河系の化学進化にみる 石丸友里(国際基督教大学)
14:42	J128a パルサー磁極領域におけるプラズマのダイナミクスの研究 木坂将大(東京大学)	10:42	J138a 次世代重力波観測のための初代星連星進化計算 衣川智弥(京都大学)
14:54	J129a Thermal X-ray Emission from Stellar Wind Shocks in the VHE Gamma-ray Binary LS 5039 岡崎敦男(北海学園大学)	10:54	J139a シヴァルツシルドBH事象限界近傍におけるプラズマ波動の発生 大家 寛(東北大学)
15:06	J130a 位置天文観測によるガンマ線連星の高密度星決定法と小型JASMINEへの適用 山口正輝(国立天文台)	11:06	J140a ブラックホール回転エネルギー引抜き の因果的機構 小出眞路(熊本大学)
15:18	J131a コンパクト連星の軌道決定に対する統計的手法 山田慧生(弘前大学)	11:18	J141a ブラックホール磁気圏における磁気的ペンローズ過程 高橋真聡(愛知教育大学)

J2. 高密度星

9月12日(木) 午後・A会場		9月10日(火) 午前・A会場	
13:30	J142a ブラックホール候補天体 4U 1630-472 からの巨大アウトバーストの MAXI/GSC による観測 石川真木 (総合研究大学院大学)	11:00	J201a Swift/BAT とすざく/WAM による FRED 型 GRB のスペクトル変動の観測 上野 遥 (埼玉大学)
13:42	J143a ブラックホール連星 MAXI J1910-057 の可視光観測 吉井健敏 (東京工業大学)	11:12	J202a 高赤方偏移 ($z=5.9$) GRB 130606A の可視光残光分光観測 河合誠之 (東京工業大学)
13:54	J144a MAXI による Cygnus X-1 のハード状態、ソフト状態のパワースペクトル 杉本樹梨 (理化学研究所/立教大学)	11:24	J203a 相対論的火の玉モデルからの放射の時間変化とガンマ線バースト 茂山俊和 (東京大学)
14:06	J145a ブラックホール連星 Swift J1753.5-0127 の短時間ソフト化の詳細解析 吉川瑛文 (理化学研究所/東京理科大学)	11:36	J204a Ultra Long Gamma-Ray Burst の青色超巨星起源シナリオ 仲内大翼 (京都大学)
14:18	J146a 「すざく」を用いた LMC X-1 の X 線スペクトルの時間変動解析 小山志勇 (埼玉大学)	11:48	J205a 超相対論的流体における衝撃波中の放射輸送シミュレーション 石井彩子 (東北大学)
14:30	J147a 「すざく」による近傍 ULX 天体 M33 X-8 のスペクトルとその時間変動 小林翔悟 (東京大学)	12:00	J206a ガンマ線バーストジェット内部における放射輸送計算 柴田三四郎 (甲南大学)
14:42	J148a ULX の低温度コンプトンコロナ - NGC 1313 X-1 のベキ型スペクトル - 吉田鉄生 (国立天文台)	12:12	J207a 相対論的磁化プラズマにおける電流層の新しい不安定性 井上剛志 (青山学院大学)
14:54	J149a 放射流体計算による超臨界降着流及び噴出流の大域的構造の研究 橋詰克也 (総合研究大学院大学/国立天文台)	12:24	J208a ガンマ線バーストからの逃走中性子とニュートリノ 浅野勝晃 (宇宙線研究所)
15:06	J150a 超臨界降着流からのジェット/アウトフローの形成 高橋博之	12:36	J209a ニュートリノ優勢降着円盤の新しい不安定性とガンマ線バーストへの示唆 川中宣太 (東京大学)
15:18	J151a 加速粒子を考慮した降着流 木村成生 (大阪大学)	12:48	J210a Rayleigh-Taylor 不安定性和 Richtmyer-Meshkov 不安定性が相対論的ジェットに与える影響 松本 仁 (国立天文台)
15:30	J152a 放射圧駆動風の臨界点について：非相対論的領域 福江 純 (大阪教育大学)		

K. 超新星爆発

9月10日(火) 午後・A会場		9月10日(火) 午前・D会場	
15:00	J211a 弱い縦磁場存在下での降着円盤の磁気流体大局数値実験 鈴木 建 (名古屋大学)	11:00	K01a 「すざく」衛星による長周期パルサーに付随する超新星残骸 RCW103 中野俊男 (東京大学)
15:12	J212a 潮汐変形した円盤での波と波との共鳴による tilt の励起 加藤正二	11:12	K02a X線精密分光で明らかにする Puppis A SNR 爆発噴出物の運動学 勝田 哲 (理化学研究所)
15:24	J213a 複数回の再増光を示す WZ Sge 型矮新星 MASTER OT J211258.65+242145.4 と MASTER OT J203749.39+552210.3 中田智香子 (京都大学)	11:24	K03a すざくによる超新星残骸 G292.0+1.8 からの高階電離鉄輝線の発見 上司文善 (大阪大学)
15:36	J214a 新矮新星 CSS J174033.5+414756 のアウトバーストにおける測光観測 大島誠人 (京都大学)	11:36	K04b X-ray line analysis of the Fe groups of Cassiopeia A with Suzaku 前田良知 (宇宙航空研究開発機構)
15:48	J215a 新星風の観測的特徴：電子散乱の影響 小倉和幸 (大阪教育大学)	11:36	K05b Kiso Supernova Survey (KISS) -II 松本恵未子 (甲南大学)
16:00	J216a 「すざく」衛星による単独強磁場白色矮星 EUVE J0317-855 からの非熱的放射の探査 原山 淳 (宇宙航空研究開発機構)	11:36	K06b 暗い IIP 型超新星 SN 2009js の可視光及び中間赤外線観測 山中雅之 (京都大学)
16:12	J217b 軟 X線源 MAXI J0158-744 における Ne 輝線の起源 大谷友香理 (東京大学)	11:48	K07a 中間光度 Ia 型超新星における爆発日推定観測 山中雅之 (京都大学)
16:12	J218b 矮新星 VW Hyi の多波長観測による降着円盤内縁の構造の解明 和田師也 (宇宙航空研究開発機構)	12:00	K08a 極超新星に類似した近傍 Ib 型超新星 SN 2012au の後期観測 高木勝俊 (広島大学)
16:12	J219b 突発的電波天体の観測可能性 青木貴弘 (早稲田大学)	12:12	K09a 小惑星搜索画像によるショックブレイクアウトの探索 高木康平 (九州大学)
		12:24	K10a 重力崩壊型超新星で発生する相対論的 shock breakout の理論的研究 大谷友香理 (東京大学)
		12:36	K11a 超新星ショックブレイクアウトの相対論的輻射流体計算 鈴木昭宏 (国立天文台)
		12:48	K12a 大質量連星系中での超新星爆発が伴星に与える影響 平井遼介 (早稲田大学)

13:00	K13b 高輝度青色激変星超新星親星モデルから再現される超新星電波光度曲線の突発的变化 守屋 堯 (東京大学)	17:00	K25a ニュートリノ加熱機における構重力崩壊型超新星爆発の爆発エネルギー 山本 佑 (早稲田大学)
	K14c 超新星爆発における物質混合の星周物質依存性 松尾康秀 (九州大学)		K26c 非球対称超新星爆発の放出ガス組成に対するニュートリノ照射の影響 藤本信一郎 (熊本高専)
9月10日(火) 午後・D会場			
15:00	K15a SPHシミュレーションを用いたIa型超新星 progenitor モデルの検証II 佐藤裕史 (東京大学)		K27c 超新星ニュートリノの観測予測と平均エネルギーの決定精度の統計的解析 谷貝麻純 (東京理科大学)
15:12	K16a 二重白色矮星の合体時に発生するホットスポットの構造 谷川 衝 (理化学研究所)		
15:24	K17a pulsational pair-instability における質量放出 石井達穂		
15:36	K18a 超新星背景ニュートリノと爆発メカニズム 中里健一郎 (東京理科大学)		
15:48	K19a 超新星爆発の3次元シミュレーション、自転の効果 滝脇知也		
16:00	K20a 重力崩壊型超新星における定在降着衝撃波下流側の流れパターンの多様性 岩上わかかな		
16:12	K21a Semi-dynamical approach to the shock revival in CCSNe 長倉洋樹 (京都大学)		
16:24	K22a 親星の対流層が定在降着衝撃波不安定性に与える影響の解析 高橋和也 (早稲田大学)		
16:36	K23a 重力崩壊型超新星における磁気回転不安定成長 澤井秀朋 (早稲田大学)		
16:48	K24a 軽元素によるニュートリノ加熱反応が超新星爆発へ与える影響 古澤 峻		

L. 太陽系

9月10日(火) 午前・C会場		
11:00	L01a 小型科学衛星 SPRINT-A の打ち上げ 吉川一朗 (東京大学)	12:48 L14a Web動画から推定したチェリャビンスク火球の衝突エネルギー 柳澤正久 (電気通信大学)
11:12	L02a 「すざく」による地球から広がった軟X線放射の観測 石川久美 (理化学研究所)	13:00 L15a チェリャビンスク隕石の現地調査報告 高橋典嗣 (日本スペースガード協会)
	L03c 太陽系小天体名の発音調査 佐藤 勲 (宇宙用語研究会)	
	L04c 「あかり」遠赤外線拡散光全天マップに見られる黄道光微細構造 II 大坪貴文 (東北大学)	
11:24	L05a 高アルベドC型小惑星の近赤外分光観測 白井文彦 (宇宙航空研究開発機構)	
11:36	L06a 高アルベドヒルダ群小惑星の可視光スペクトル 高遠徳尚 (国立天文台)	
11:48	L07a 地球大接近小惑星 2012 DA14 の表面特性測定 寺居 剛 (国立天文台)	
12:00	L08a 小惑星(704) インテラムニアの立体形状 佐藤 勲 (ライトカーブ研究会)	
12:12	L09a C/2011 L4 (PANSTARRS) 彗星の観測とネックライン構造 花山秀和 (国立天文台)	
12:24	L10b 213P/Van Ness 彗星のダスト構造と分裂核 花山秀和 (国立天文台)	
12:24	L11b 高感度デジタルカメラによる 2012 年ふたご座流星群の流星痕観測 戸田雅之 (日本流星研究会)	
12:24	L12b 非直線経路の流星 戸田雅之 (日本流星研究会)	
12:36	L13a みずがめ座 η 流星群の 2013 年における突発出現予報研究と実際の観測結果 佐藤幹哉 (かわさき宙と緑の科学館)	

M. 太陽

9月10日(火) 午後・E会場		
15:48	M01a 天文学的視点からみた Faint Young Sun Paradox 今田晋亮 (名古屋大学)	10:06 M13a 太陽フレア望遠鏡搭載・赤外ポラリメータによる磁場観測 桜井 隆 (国立天文台)
16:00	M02a 太陽の差動回転シミュレーションで知る天体乱流の取り扱い 堀田英之 (東京大学)	10:18 M14b 東北大学 HF ~ VHF 帯太陽電波観測装置の開発計画 三澤浩昭 (東北大学)
16:12	M03a 回転球殻 MHD ダイナモ : 貫入性対流の影響 政田洋平 (神戸大学)	10:18 M15b NICT 新太陽電波望遠鏡 久保勇樹 (情報通信研究機構)
16:24	M04a 新しい太陽ダイナモコードの開発 陰山 聡 (神戸大学)	10:18 M16b DSCOVR からのリアルタイム太陽風データ受信について 亙 慎一
16:36	M05a キンク不安定化した磁束管の太陽内部における浮上過程 高棹真介 (京都大学)	10:30 M17b 国立天文台太陽観測所太陽フレア望遠鏡 H α 全面観測システムの構築 大辻賢一 (国立天文台)
16:48	M06b Temporal evolution of the Sun's Polar Magnetic Patches as observed with Hinode Anjali John Kaithakkal (SOKENDAI,NAOJ)	10:30 M18b 国立天文台太陽観測所の長期観測とデジタルデータベースの作成 鈴木 勲 (国立天文台)
16:48	M07b 野辺山電波ヘリオグラフによるコロナ磁場の三次元構造 岩井一正 (国立天文台)	10:30 M19b 太陽フレア望遠鏡の白色光・G-Band 画像の較正及びデータ公開 矢治健太郎 (国立天文台)
16:48	M08b コロナ極紫外光の歪んだ輝線プロフィールに対する電子密度解析 北川直優 (東京大学)	10:42 M20b Hinode, SDO ベクトル磁場を用いた活動領域 NLFFF データベース開発 塩田大幸 (名古屋大学)
	M09c MDI Magnetgram 観測データを用いた太陽面上の白斑および黒斑の分布形成における時系列解析 清野光弘 (琉球大学)	10:42 M21b X線天文衛星「すざく」搭載 WAM 検出器による太陽フレアの硬 X 線・ガンマ線帯域の時系列解析 岩切 涉 (理化学研究所)
9月11日(水) 午前・E会場		10:42 M22b 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡 / 高速フレア撮像装置 (FISCH) による観測 (イベント) データアーカイブの整備 石井貴子 (京都大学)
09:30	M10a 次期太陽観測衛星・Solar-C ミッション 渡邊鉄哉 (国立天文台)	M23c SMART 望遠鏡新マグネトグラフ用インバージョンコードの開発 永田伸一 (京都大学)
09:42	M11a 宇宙天気研究における次世代太陽観測衛星 Solar-C の科学戦略 草野完也 (名古屋大学)	M24c 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡を用いた小規模活動現象の分光観測 大辻賢一 (国立天文台)
09:54	M12a 次期太陽観測衛星 Solar-C 搭載光学望遠鏡 (SUVIT) の検討進捗 末松芳法 (国立天文台)	

10:54	M25a 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡 H-alpha 全面像観測データを用いたシノプティックマップの作成 石井貴子 (京都大学)	9月12日(木) 午前・E会場	
11:06	M26a 黒点相対数の南北非対称性 萩野正興 (京都大学)		
9月11日(水) 午後・E会場		09:30	M37a Xクラスフレアを発生させた δ 型黒点で観測される顕著な光球高速流 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)
13:30	M27a 3次元輻射磁気流体計算による磁気ネットワーク生成過程の研究 飯島陽久 (東京大学)	09:42	M38a SDO 衛星によるフレアトリガ研究の手法開発とその評価 伴場由美 (名古屋大学)
13:42	M28a Multi-height velocity measurements using SDO/HMI observation datasets 長島 薫 (Max Planck Institute for Solar System Research)	09:54	M39a 2012年10月23日 X1.8 フレアに伴った白色光放射と粒子加速 渡邊恭子 (宇宙航空研究開発機構)
13:54	M29a 太陽の磁束浮上領域に見られる水平発散流の統計的研究 鳥海 森 (東京大学)	10:06	M40a 磁気熱不安定性の太陽大気への適用についての検討 横山央明 (東京大学)
14:06	M30a 静穏領域の全磁気エネルギーを決めるのは大スケールか小スケールか 勝川行雄 (国立天文台)	10:18	M41a 金星・火星に到達した2011-2012年の太陽イベントのデータ解析 池田喜則 (大阪府立大学)
14:18	M31a 太陽表面における磁極構造輸送の描像 飯田佑輔 (宇宙航空研究開発機構)	10:30	M42a ずさく衛星搭載広帯域全天モニターによる太陽フレア観測 大野雅功
14:30	M32a ひので可視光望遠鏡高速撮像によるGバンド輝点の観測 大辻賢一 (国立天文台)	10:42	M43a ロケット実験 FOXSI による太陽硬 X 線の高感度撮像分光観測 (2) 石川真之介 (国立天文台)
14:42	M33a 光球、彩層大気における磁場の影響 柴崎清登 (国立天文台)	10:54	M44a AMATERAS 高分解スペクトルで観測された太陽電波 I 型バーストの時間変動 岩井一正 (国立天文台)
14:54	M34a 磁気リコネクションによる二重スピキュール発生モデル 須田武憲 (京都大学)	11:06	M45a AMATERAS によって観測された太陽電波 type-II バースト中の微細構造の特性 佐藤伸太郎 (東北大学)
15:06	M35a 熱不安定による太陽フィラメント形成の2.5次元 MHD シミュレーション 金子岳史 (星科学専攻)	11:18	M46a 東北大学太陽電波望遠鏡 AMATERAS で観測された狭帯域太陽電波 Type-IV バーストとその生成機構について 加藤雄人 (東北大学)
15:18	M36a A statistical study of transverse waves in a quiescent prominence Andrew Hillier (Kyoto Univ.)		

N. 恒星

9月12日(木) 午後・E会場		9月11日(水) 午後・B会場	
13:30	M47a 熱的放射に対してマイクロ波非熱的放射が強い太陽フレアの統計解析 増田 智 (名古屋大学)	13:30	N01a 矮小銀河中の恒星の観測データベース 須田拓馬 (国立天文台)
13:42	M48a Forward modelling of MHD kink oscillations in the solar corona Patrick Antolin (Univ. of Tokyo (Japan)/KU Leuven (Belgium))	13:42	N02a なゆた望遠鏡 /VTOS を用いたベテルギウスのスペックル観測 三浦則明 (北見工業大学)
13:54	M49a Analysis on Mechanisms of Reconnection Rate Enhancement in 3D MHD simulation of a Current Sheet in a Resonant Box Shuoyang Wang (Univ. of Tokyo)	13:54	N03a Be 星 V817 Cassiopeiae のアウトバースト時の測光・分光観測 前原裕之 (東京大学)
14:06	M50a SDO/AIA とひので /EIS によるリムフレアの双方向インフローと高温カスプループの同時観測 松井悠起 (東京大学)		N04c W Serpentis 型食連星 V367 Cyg の位相によるスペクトルの変動 小木美奈子 (岡山理科大学)
14:18	M51a ひので EIS の観測装置起源の線幅の較正方法と適用結果について 原 弘久	14:06	N05a WINERED: 神山天文台 1.3m 望遠鏡での初期観測成果 近藤荘平 (京都産業大学)
14:30	M52a 太陽風の影響を考慮した EUV 波と CME の速度の関係性 阿部修平 (茨城大学)		N06c 赤外線高分散分光器 WINERED による赤色巨星・超巨星の観測 近藤荘平 (京都産業大学)
14:42	M53a ひので -EIS による小規模コロナ質量放出現象の観測 神田夏央 (名古屋大学)	14:18	N07a 近赤外線高分散分光によるセファイドの金属量の導出: 導出方法の確立 福江 慧 (東京大学)
14:54	M54a 2012 年 7 月 19 日のリムフレアに伴うプラズマ放出現象 大山真満 (滋賀大学)	14:30	N08b 近赤外線高分散分光による銀河系内縁部の化学組成の研究 (1) 散開星団 GLIMPSE9 クラスタの金属量 山本 遼 (東京大学)
15:06	M55a 皆既日食観測におけるCME 花岡庸一郎 (国立天文台)	14:30	N09b KWFC 銀河面変光天体探査 (KISOGP) 松永典之 (東京大学)
		14:30	N10b 「あかり」系内惑星状星雲 2.5-5.0 μm 分光カタログの作成 大澤 亮 (東京大学)
			N11c VERA によるミラ型変光星の VLBI 位置天文観測 中川亜紀治 (鹿児島大学)
		14:42	N12a II _n 型超新星から探る大質量星が起こす爆発直前の大質量放出 守屋 堯 (東京大学)
		14:54	N13a 天文学的ダスト形成環境における非定常ダスト形成過程の定式化 野沢貴也 (東京大学)

15:06	N14a 宇宙初期の漸近巨星分枝星での炭素ダスト形成と質量放出 田染翔平 (北海道大学)	11:18	N26b 高時間分解能データを用いた太陽型星におけるスーパーフレア発生頻度の統計解析 前原裕之 (東京大学)
15:18	N15a 金属欠乏星の分子線による恒星大気の3次元効果の検証 青木和光 (国立天文台)	11:18	N27b 西はりま天文台 MALLS によるスーパーフレア星の分光観測 本田敏志 (兵庫県立大学)
9月12日(木) 午前・B会場		9月12日(木) 午後・B会場	
09:30	N16a ケプラー脈動測光データから連星軌道要素を決める 柴橋博資 (東京大学)	13:30	N28a 早期型星の磁場強度、伴星の有無によるX線放射の差異 小松飛斗 (立教大学)
09:42	N17a Pulsations in massive stars Melanie Godart (Univ. of Tokyo)	13:42	N29a 長周期大質量連星系 WR137 における謎のX線光度変動 菅原泰晴 (中央大学)
09:54	N18a 日震学に基づく太陽モデルによる光子アクションカップリング定数への制限 前田和宏 (東京大学)	13:54	N30a Using 3D Dynamic Models to Reproduce X-ray Properties of Colliding Wind Binaries Christopher M. P. Russell (Hokkai-Gakuen Univ.)
10:06	N19a 対流の効果を考慮した大質量星におけるストレンジモードの解析 園井崇文 (東京大学)	14:06	N31a JVN による恒星からの非熱的電波の観測 廣田朋也 (国立天文台)
10:18	N20a 恒星の自転の進化—慣性モーメントの変動と Be 星の起源 勝田 豊 (北海道大学)		
	N21c 定常化局所化された Xiong 理論の第二方程式系による対流核 梅津 実 (東北学院大学)		
10:30	N22a 活動的な太陽型星風における降着相の出現 寺西恭雅 (名古屋大学)		
10:42	N23a 銀河面からの軟 X 線背景放射 三石郁之 (首都大学東京)		
10:54	N24a MAXI が捉えた K2 型変光星 HD347929 からの巨大フレア 川越淳史 (中央大学)		
11:06	N25a 2013 年 1 月の II Peg フレアの多波長同時観測 秋山昌俊 (中央大学)		

P1. 星・惑星形成

9月10日(火) 午前・H会場		9月10日(火) 午後・H会場	
11:00	P101a 大質量原始星 G353 に付随するコンパクトジェットと光学的に厚いエンベロープの検出 元木業人 (山口大学)	12:36	P112a 星形成レガシープロジェクト II. Serpens South 領域の分子輝線観測 田中智博 (大阪府立大学)
11:12	P102a EAVN による 6.7GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ V: プロジェクト進捗と今後の予定 藤沢健太 (山口大学)	12:48	P113a 星形成レガシープロジェクト III. Aquila Rift/Serpens 領域の NH ₃ , CCS 観測 西谷洋之 (国立天文台)
11:24	P103a EAVN による 6.7 GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ VI: 2010-2012 年間における内部固有運動議論 その 2 杉山孝一郎 (山口大学)	13:00	P114a 野辺山 45m 鏡 45GHz 帯新受信機 Z45 を用いた CCS マッピング観測 中村文隆 (国立天文台)
11:36	P104b 大質量原始星の直接診断: メーザー周期変動と原始星脈動 稲吉恒平 (京都大学)	13:12	P115a N ₂ H ⁺ 分子輝線を用いたコアの柱密度、線幅、励起温度の導出と相互関係 大橋聡史 (東京大学 / 国立天文台)
11:36	P105b 6.7 GHz メタノール・メーザーの周期強度変動探査 I: プロジェクト概要 杉山孝一郎 (山口大学)	9月10日(火) 午後・H会場	
11:36	P106b 44GHz 帯 CH ₃ OH メーザー源の日韓合同 VLBI イメージング観測 松本尚子 (国立天文台)	15:00	P116a 低質量原始星形成に伴う重水素濃縮度変化 柴田大輝 (東京大学)
	P107c EGO 天体に対する H ₂ O 及び Class I CH ₃ OH メーザーの VERA 単一鏡観測結果 外間一輝 (琉球大学)	15:12	P117a 分子雲の化学進化計算に基づく銀河の環境的要因が氷ダストの化学組成に与える影響の調査 下西 隆 (神戸大学)
11:48	P108a 1.85m 電波望遠鏡の観測進捗: 2012 年度の成果 西村 淳 (大阪府立大学)	15:24	P118b 星形成レガシープロジェクト IV. オリオン A 分子雲中原始星周囲の高密度ガスの力学構造 原 千穂美
12:00	P109a 銀河系渦状腕における分子雲の衝突確率と大質量星形成 中島大智 (名古屋大学)	15:24	P119b 星形成レガシープロジェクト IV: 赤外線暗黒星雲 M17 SWex における大質量星形成領域の探査 中村文隆 (国立天文台)
12:12	P110a Mopra22m 望遠鏡で探る大質量星による誘発的星形成: 散開星団 NGC6231 とエレファントトランク SFO82 曾我 翔 (名古屋大学)	15:24	P120b 星形成レガシープロジェクト VI. カリフォルニア星雲の分子輝線観測 山日彬史 (東京学芸大学)
12:24	P111a 星形成レガシープロジェクト I. 北の石炭袋のミリ波観測 土橋一仁 (東京学芸大学)	15:36	P121b 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載 45GHz 受信機 (Z45) の試験観測 落合 哲 (東京学芸大学)
		15:36	P122b 赤外線星団が付随する分子雲コアの統計的研究 下井倉ともみ (東京学芸大学)

	<p>15:36 P123b 比角運動量ベクトルを用いた低質量原始星コアの回転構造の解析 清兼和紘 (東京大学)</p> <p>P124c 1.85m 電波望遠鏡による銀河面分子雲の広域探査 III 澤村将太郎 (東京学芸大学)</p> <p>P125c 星形成レガシープロジェクト VII. 大質量星形成領域 DR21 の分子輝線観測 片倉 翔 (東京学芸大学)</p> <p>P126c ALMA によるおおかみ座 Class 0 原始星 IRAS15398-3359 の観測 大屋瑠子 (東京大学)</p> <p>P127c 2 Micron All Sky Survey に基づく近赤外線クラスターのフィットの検証 西村美紀 (東京学芸大学)</p> <p>15:48 P128a 原始惑星系円盤の [CI]($^3P_1-^3P_0$) 輝線放射の検出 塚越 崇 (茨城大学)</p> <p>16:00 P129a L1527 IRS の ALMA Cycle 0 観測: 動的降着からケプラー回転への遷移 大橋永芳 (国立天文台)</p> <p>16:12 P130a TMC-1A の ALMA Cycle 0 観測: 原始星後期段階でのケプラー円盤形成 麻生有佑 (東京大学)</p> <p>16:24 P131a HD 142527 に付随する原始惑星系円盤のサブミリ波高解像度観測 深川美里</p> <p>16:36 P132a 輻射輸送計算によるファーストコア表層からの輝線観測予測 西合一矢</p> <p>16:48 P133a 銀河系最外縁領域の分子雲 Digel Clouds における星生成領域探査 泉 奈都子 (東京大学)</p> <p>17:00 P134a ブライトリム分子雲の磁場構造 楠根貴成 (名古屋市立大学)</p>	<p>9月11日(水) 午前・H会場</p> <p>09:30 P135a 赤外線暗黒星雲 M17SWex の近赤外線偏光観測 杉谷光司</p> <p>09:42 P136a 大質量星形成領域 RAFGL 6366S 及び IRAS18317-0513 の長中間赤外線での観測 内山瑞穂 (東京大学)</p> <p>09:54 P137a 近赤外線高分散分光器 WINERED による、中質量星における原始惑星系円盤の観測 安井千香子 (東京大学)</p> <p>10:06 P138a みなみのかんむり座の遷移円盤天体における高解像度近赤外線偏光観測 工藤智幸 (国立天文台)</p> <p>10:18 P139a SEEDS による星形成領域における原始惑星系円盤探査の現状 -2- 橋本 淳 (オクラホマ大学)</p> <p>10:30 P140a Mon R2 における近赤外偏光と中間赤外で探る若い星の固有偏光 日下部展彦</p> <p>10:42 P141a 横向き磁場を持ったフィラメント状磁気雲の構造と臨界線質量 富阪幸治 (国立天文台)</p> <p>10:54 P142a フィラメント状星形成領域からの星団形成シミュレーション 藤井通子 (国立天文台)</p> <p>11:06 P143b おおかみ座分子雲における超低質量天体探査観測 大朝由美子 (埼玉大学)</p> <p>11:06 P144b Bok Globule の近赤外線 YSO サーベイ 高木悠平 (兵庫県立大学)</p> <p>11:06 P145b RMHD Simulations of Protostellar Collapse: Low-Metallicity Environments 富田賢吾 (Princeton Univ.)</p> <p>P146c V582Aur アウトバーストにみられる FUor 型的特徴~木曾観測所写真乾板アーカイブス研究 三戸洋之 (東京大学)</p>
--	---	--

P2. 星・惑星形成

9月11日(水) 午後・H会場		9月11日(水) 午前・I会場	
13:30	P147a 磁場による角運動量輸送とアウトフローの分解能依存性 岩崎一成 (名古屋大学)	09:30	P201a TW Hya 周囲の原始惑星系円盤の ALMA Science Verification 観測 立原研悟 (名古屋大学)
13:42	P148a 磁気制動と星周円盤の形成を適切に計算するための条件 町田正博 (九州大学)	09:42	P202a Herbig Be 型星 HD100546 原始惑星系円盤表層における水氷分布観測 本田充彦 (神奈川大学)
13:54	P149a MHD Simulations of Star-Disk Interaction I - Code Development and Initial Results 富田賢吾 (Princeton Univ.)	09:54	P203a 大型望遠鏡による原始惑星系円盤スノーラインの直接撮像観測可能性 武藤恭之 (工学院大学)
14:06	P150a 円盤分裂によって形成したクランプの性質について 塚本裕介 (名古屋大学)	10:06	P204a 中質量 GK 型巨星を周回する新たな惑星系の発見: HD4732, HD2952, HD120084, ω Serpentis 佐藤文衛 (東京工業大学)
14:18	P151a 超急速ガス降着による超大質量原始星の進化 細川隆史 (東京大学)	10:18	P205a 若い星 CVSO30 を周回する惑星のトランジット観測 鬼塚昌宏 (総合研究大学院大学)
14:30	P152a 宇宙初期の超大質量星の進化と最後 梅田秀之 (東京大学)	10:30	P206a 蒸発惑星の Transit Depth Variation 河原 創 (東京大学)
14:42	P153a 初代星形成過程の多様性: 収縮時間に依存するガス雲の熱進化 平野信吾 (東京大学)	10:42	P207a 直接撮像法による複数惑星系 KOI-94 周りの伴星候補天体の発見 高橋安大 (東京大学)
14:54	P154a ダスト成長を考慮した低金属量の星形成ガス雲の進化 2 千秋 元 (東京大学)	10:54	P208a TTV を用いた複数トランジット惑星系のパラメータ推定 増田賢人 (東京大学)
15:06	P155a 初代銀河における超大質量形成の 3次元シミュレーション 稲吉恒平 (京都大学)	11:06	P209a 元素組成およびダスト分布をパラメータとした褐色矮星のスペクトル解析 空華智子 (名古屋大学)
15:18	P156a 初代星進化に自転運動が与える影響 高橋 亘 (東京大学)	11:18	P210b 原始惑星系円盤表層の水氷に対する光脱離反応有無の検出可能性 高附翔馬 (東京工業大学)
15:30	P157a 低金属度における原始星円盤の重力不安定性 田中 圭 (東北大学)	11:18	P211b A Search for Planets and Brown Dwarfs around Subdwarf B Stars Using the Observed-Minus-Calculated(O-C) Method Tomomi Otani (Florida Institute of Technology)
15:42	P158b 星形成期の円盤内側領域における質量降着率の時間変動 大谷卓也 (大阪大学)	11:18	P212b ホットスーパーアースの大気構造モデリングと観測可能性の評価 伊藤祐一 (東京工業大学)
15:42	P159b 動的フィラメント状分子雲における分子雲コア質量関数の進化について 野口みな子 (名古屋大学)		P213c 系外惑星における光合成の痕跡の指標構築のための光捕集計算 小松 勇
15:42	P160b 強い降着を考慮した前主系列星の進化 國友正信 (東京工業大学)		

9月11日(水) 午後・I会場		9月12日(木) 午前・I会場	
13:30	P214a MOA-IIによる系外惑星探査：2013年の経過報告 住 貴宏 (大阪大学)	09:30	P224a 原始惑星系円盤における大局磁場強度と円盤密度構造の進化 竹内 拓 (東京工業大学)
13:42	P215a MOA-2008-BLG-288Lb: マイクロレンズ法による最も重い M 型星周りの惑星 越本直季 (大阪大学)	09:42	P225a 原始惑星系円盤における水の重水素比進化 古家健次 (神戸大学)
13:54	P216a MOA-2008-BLG-379Lb : K 型星周りの巨大ガス惑星 鈴木大介 (大阪大学)	09:54	P226a 原始惑星系円盤内の雷分布 村主崇行 (京都大学)
14:06	P217a MOA-II 望遠鏡を用いた重力マイクロレンズ法による惑星イベント OGLE-2012-BLG-0950/MOA-2012-BLG-527 和田光平 (大阪大学)	10:06	P227a 原始惑星系円盤中でのダスト・ガス摩擦によるリング構造形成メカニズムについて 高橋実道 (名古屋大学 / 京都大学)
14:18	P218a すばる戦略枠観測 SEEDS による原始惑星系円盤および系外惑星探査 IV 田村元秀 (東京大学 / 国立天文台)	10:18	P228a 空隙ダストの静的圧縮を考慮した微惑星形成 片岡章雅 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
14:30	P219a SEEDS による太陽型恒星を公転する低温・低光度巨大ガス惑星の直接撮像 葛原昌幸 (東京工業大学)	10:30	P229a 衝撃波による氷微惑星の蒸発とダストの再凝縮過程 田中今日子 (北海道大学)
14:42	P220a 直接撮像による若い恒星周りの遠方惑星と原始惑星系円盤の探査 オ デヒョン (総合研究大学院大学)	10:42	P230a 磁気乱流中における微惑星の離心率増幅と原始惑星形成 奥住 聡 (東京工業大学)
14:54	P221a SEEDS による散開星団での系外惑星探査 4 山本広大 (大阪大学)	10:54	P231a 非理想気体も扱える Density Independent Smoothed Particle Hydrodynamics の開発 細野七月 (東京工業大学)
15:06	P222a SEEDS Direct Imaging Survey of Ursa Major Members Matthias S. Samland (Osaka Univ.)	11:06	P232b 原始惑星系円盤における大局的磁束の輸送進化：磁束強度の上限 奥住 聡 (東京工業大学)
15:18	P223a 太陽系外惑星探査における恒星混入率の導出：赤外線深撮像観測を用いた銀河系恒星分布モデルへの制限 小西美穂子 (大阪大学)	11:06	P233b 原始惑星系円盤内の局所的なダスト高密度領域におけるストリーミング不安定性の成長について 瀧 哲朗 (東京工業大学)
		11:06	P234b 有機物マントルをもつダストの衝突合体成長：合体可能速度の温度特性 上田裕太 (東京工業大学 / 東京大学)
		11:18	P235b 微惑星初期サイズについての再考察 小林 浩 (名古屋大学)

Q. 星間現象

11:18	P236b レイリー条件を考慮した巨大惑星による円盤面密度ギャップの形成 金川和弘 (北海道大学)	9月10日 (火) 午後・C会場	15:00	Q01a 1.85m 電波望遠鏡による駈者座暗黒星雲の一酸化炭素輝線の観測 大崎茂樹 (大阪府立大学)
11:18	P237b 幾何学的体積を用いた SPH 法の開発 山本智子 (東京工業大学)		15:12	Q02a 南極 30cm 可搬型サブミリ波望遠鏡によるオリオン座 A 分子雲の CO(J=4-3) 輝線観測 石井 峻 (筑波大学)
	P238c ダストサイズ分布を考慮したダスト層での Shear 不安定 長谷川幸彦 (大阪大学)		15:24	Q03a オリオン座分子雲コアの化学進化 立松健一 (国立天文台)
	P239c 星周円盤のための改良版SPH法の開発と円盤長時間進化への適用 釣部 通 (大阪大学)		15:36	Q04a 超新星残骸 IC 443 の衝撃波化学 山口貴弘 (東京大学)
9月12日 (木) 午後・I会場			15:48	Q05a 系外銀河の化学構造：高温高エネルギー化学反応 野村英子 (京都大学)
13:30	P240a 原始惑星の自転特性の決定 柴田 雄 (国立天文台 / 東京大学)		16:00	Q06a グリシンの前駆体、メチレンイミンの多天体探査 鈴木大輝 (総合研究大学院大学)
13:42	P241a 円盤外側での微惑星集積 小南淳子 (東京工業大学)		16:12	Q07a CLEAN 法を用いた N_2H^+ J=1-0 輝線の超微細構造の分離とそれに基づく銀河系中心分子雲の統計的解析 三浦昂大 (慶應義塾大学)
13:54	P242a 惑星成長に伴うデブリ円盤形成 小林 浩 (名古屋大学)		16:24	Q08a 国土地理院つくば 32m 電波望遠鏡によるアンモニア分子反転遷移輝線の銀河系中心領域広域サーベイ観測 2 荒井 均 (筑波大学)
14:06	P243a 惑星移動シミュレーションによる短期巨大惑星の形成過程考察 小野智弘 (京都大学)		16:36	Q09a NANTEN2 の広域観測による Central Molecular Zone の詳細解析 III 榎谷玲依 (名古屋大学)
14:18	P244a 磁気流体波動が駆動する巨大ガス惑星からの質量放出と惑星の大気構造について 田中佑希 (名古屋大学)		16:48	Q10a 銀河系中心分子帯での分子雲 - 分子雲衝突 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)
14:30	P245a 周惑星円盤の乱流状態と温度構造 藤井悠里 (名古屋大学)		17:00	Q11b 銀河中心ローブの熱的・非熱的放射成分の放射分布 名越 遥 (山口大学)
14:42	P246a 高密度惑星環の自己重力構造の空間・時間相関解析 藤井顕彦 (東京大学 / 国立天文台)		17:00	Q12b 電波再結合線による銀河中心ローブの観測 3 窪瀬雄三 (山口大学)
14:54	P247a Numerical study of spin-orbit misalignment and realignment II Yuxin Xue (東京大学)			
15:06	P248a 低温度星周りの系外地球型惑星の大気および水の存在量 堀 安範 (国立天文台)			

17:00	Q13b Sgr A* および Circumnuclear disk 方向の 3 mm 帯ラインサーベイ観測 竹川俊也 (慶應義塾大学)	11:06	Q24b 表面からの蒸発流を考慮した PDR モデル 本山一隆 (国立情報学研究所)
17:12	Q14b 銀河系中心領域を想定したアンモニア反転遷移輝線 6 本による輻射強度モデルの比較 永井 誠 (筑波大学)	11:06	Q25b 星間二相流体の乱流構造: 二次元乱流の自己維持機構 岩崎一成 (名古屋大学)
9月11日(水) 午前・C会場			Q26c 宇宙線パーカー不安定性の赤道面対称性 工藤哲洋 (国立天文台)
09:30	Q15a Tornado Nebula に付随する二つの分子雲とそれらの相互作用 酒井大裕 (東京大学)	9月11日(水) 午後・C会場	
09:42	Q16a 大マゼラン雲のスーパージャイアントシェルに付随する高密度分子ガスと星形成の観測的研究 藤井浩介 (東京大学)	13:30	Q27a プランク衛星の全天観測を用いた中性水素雲における密度の推定 福井康雄 (名古屋大学)
09:54	Q17a 小マゼラン雲における分子雲形成: 分子雲と中性水素原子ガスの 3 次元的詳細比較 早川貴敬 (名古屋大学)	13:42	Q28a 「あかり」による遠赤外線拡散光全天マッピング XII (絶対強度校正) 瀧田 怜 (宇宙航空研究開発機構)
10:06	Q18a 分子雲衝突によって誘発された大質量星形成: CO J=2-1, J=1-0 輝線を用いた Spitzer Bubble に付随する分子雲の統計的観測 長谷川敬亮 (名古屋大学)	13:54	Q29a スタック解析による銀河遠赤放射量測定が与えるダスト分布への示唆 柏木俊哉 (東京大学)
10:18	Q19a 宇宙線の影響を考慮した磁気浮力不安定性の MHD シミュレーションによる 2 次元と 3 次元モデルの成長比較 那須田哲也 (東京大学)	14:06	Q30a IRSF と「あかり」で探る超新星残骸 IC443 における鉄輝線の起源 國生拓摩 (名古屋大学)
10:30	Q20a 非熱的粒子によって駆動される磁気浮力不安定性の時間発展 工藤祐己 (千葉大学)	14:18	Q31a Subaru and AKARI observations of supernova remnant G349.7+0.2 Ho-Gyu Lee (Univ. of Tokyo)
10:42	Q21a 銀河系中心アウトフローによるヘリカルな磁場構造と分子タワー形成 朝比奈雄太 (千葉大学)	14:30	Q32a 酸素に富む AGB 星周における高温凝縮ダスト形成過程解明への赤外分光スペクトルその場計測実験 石塚紳之介 (東北大学)
10:54	Q22a 銀河間中性水素雲が高速度雲である可能性について 釜谷秀幸 (防衛大学校)	14:42	Q33a NGC 2023 における炭素質ダストの特異性と実験に基づく候補物質探査 佐藤一輝 (東京大学)
11:06	Q23b NRO レガシープロジェクト: 銀河面 CO サーベイ 梅本智文 (国立天文台)	14:54	Q34a Herschel PACS/SPIRE 分光観測による Carina Nebula の輝線診断 中村友彦 (東京大学)
		15:06	Q35a 「あかり」が明らかにした銀河系中心領域の拡散 PAH 放射と Fermi bubble との関連性 近藤 徹 (名古屋大学)

15:18	Q36a 近赤外線観測で探る銀河系中心拡散 X 線放射の起源 西山正吾	10:42	Q48b PIC シミュレーションにおける高エネルギー粒子のエネルギーロス 加藤恒彦 (広島大学)
15:30	Q37b ハッブル宇宙望遠鏡で見た紫外線可視光における背景放射 川良公明 (東京大学)	10:42	Q49b 無衝突リコネクションの磁気拡散領域とイオンの非線形力学 銭谷誠司 (国立天文台)
15:30	Q38b COBE/DIRBE で見た近赤外線域における宇宙背景放射と銀河拡散光 佐野 圭 (東京大学)	10:42	Q50b 「すざく」による TeV パルサー星雲 HESS J1356-645 の観測 井澤正治 (東京工業大学)
	Q39c 重水素を含む炭素質ダストの実験的研究 森 珠実 (東京大学)		Q51c 天の川銀河リッジ放射バックグラウンド推定モデルの構築 内山秀樹 (静岡大学)
9月12日(木) 午前・C会場		9月12日(木) 午後・C会場	
09:30	Q40a Mixed-morphology 型及びシェル型の超新星残骸の X 線・ γ 線の観測的特徴 清水崇文 (首都大学東京)	13:30	Q52a すざく衛星による超新星残骸 G337.2-0.7 の観測 高田明寛 (京都大学)
09:42	Q41a 超新星残骸 G348.5+0.1 の X 線放射について 山内茂雄 (奈良女子大学)	13:42	Q53a 超新星残骸 Vela Jr. の硬 X 線観測 武田佐和子 (埼玉大学)
09:54	Q42a 銀河系外超新星残骸からの初の過電離プラズマ検出 内田裕之 (京都大学)	13:54	Q54a Mopra 望遠鏡による超新星残骸 RX J1713.7-3946 の観測 佐野栄俊 (名古屋大学)
10:06	Q43a 超新星残骸の X 線精密分光にむけた電離非平衡プラズマモデルの開発 澤田真理 (青山学院大学)	14:06	Q55a Middle-aged SNR における星間ガスと加速宇宙線エネルギー 吉池智史 (名古屋大学)
10:18	Q44a 超新星残骸 MSH1556 の分光学的研究 矢野佑樹 (東京工業大学)	14:18	Q56a パルサー星雲における非熱的粒子の空間分布 田中周太 (東京大学)
10:30	Q45b すばる望遠鏡多天体近赤外撮像分光装置 (MOIRCS) による銀河面リッジ X 線放射の深撮像観測 森鼻久美子 (兵庫県立大学)	14:30	Q57a 銀河系中心から南北に伸びる双極状 X 線放射の発見 2 中島真也
10:30	Q46b フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による銀河面ガンマ線放射 (The 3rd galactic quadrant) の解析 林 孝典 (広島大学)	14:42	Q58a 射手座 D 領域からの X 線反射星雲の発見 信川正順 (京都大学)
10:30	Q47b SNR のシンクロトロン電波偏光遷移: 効率的宇宙線加速の証拠か? 霜田治朗 (青山学院大学)	14:54	Q59a 巨大ガンマ線構造フェルミ・バブルからの X 線放射 田原将也 (早稲田大学)

R. 銀河

9月11日(水) 午後・F会場	
13:30	R01a 最小スケールからはじまる階層的ダークマターハロー形成 石山智明 (筑波大学)
13:42	R02a ダークマターハローと銀河中心ブラックホールの重力場における球対称定常銀河風解析 五十嵐朱夏
	R03c 球対称定常銀河風模型による Sombbrero 銀河の X 線強度分布 五十嵐朱夏
13:54	R04a N 体シミュレーションによる銀河渦状腕のピッチ角の解析 道越秀吾 (同志社大学)
14:06	R05a 宇宙磁場探査の新たなアプローチ 出口真輔 (熊本大学)
14:18	R06a VERA を用いた銀河系外縁部回転曲線 IV : 銀河系第三象限の位置天文と密度波理論の検証 坂井伸行
14:30	R07a 位置天文学衛星 Gaia で期待される太陽系近傍の局所暗黒物質密度の決定 井上茂樹 (韓国天文宇宙科学研究院)
14:42	R08a 銀河系の遠方ハロー星 : 軌道分布とその金属量依存性 服部公平 (東京大学)
14:54	R09b 矮小銀河カスプ問題 : 非球対称モデルからの制限 林 航平 (東北大学)
14:54	R10b VERA による IRAS07024-1102 の年周視差測定 松尾光洋 (鹿児島大学)
	R11c VERA による距離 5 kpc を超える天体の位置天文観測 永山 匠 (国立天文台)
14:54	R12b M 51 の HST 測光データによる銀河考古学 ~ offset 法 revisited ~ 長谷川 隆 (群馬県立ぐんま天文台)
15:06	R13b シアー運動が及ぼす巨大分子雲複合体 (GMA) 進化への影響 宮本祐介 (筑波大学)
	R14c 銀河円盤の外部構造への環境効果 隈井泰樹 (熊本学園大学)
	R15c KUG カタログと SDSS 画像データとの照合 宮内良子 (国立天文台)
15:06	R16b 「あかり」による NGC253 銀河ハロー領域の広域遠赤外線観測 木幡洸大 (名古屋大学)
15:06	R17b 近傍高光度赤外線銀河 Pa α 輝線狭帯域撮像サーベイプロジェクト III 館内 謙 (東京大学)
15:18	R18b NRO45m 鏡を用いた不規則銀河 IC10 の HCN/CO 分子輝線観測 瀬川陽子 (北海道大学)
	R19c 野辺山 45m 鏡による南天の棒渦巻銀河 NGC986 の CO(1-0) 輝線全面マッピング観測 : 棒構造における高密度分子ガス形成過程 濤崎智佳 (上越教育大学)
15:18	R20b CO(J=1-0) Observations towards Optically Selected Disk Galaxies at z ~ 0.1-0.2. 松井佳菜 (国立天文台)

9月12日(木) 午前・F会場		9月12日(木) 午後・F会場	
09:30	R21a フェルミ衛星を用いたスターバースト銀河からのガンマ線系統探査 竹内勇人 (早稲田大学)	13:30	R31a ALMAによるNGC 1097 中心領域の高密度ガス観測 泉 拓磨 (東京大学)
09:42	R22a CIBER/LRSによる近赤外線波長域におけるDiffuse Galactic Lightの分光観測 新井俊明 (東京大学/ISAS/JAXA)	13:42	R32a ALMAによるNGC 1097 中心領域でのC ₂ H, HNC, HC ₃ N 他初の検出 河野孝太郎 (東京大学)
09:54	R23a SPICA搭載MCSによる銀河進化研究のための撮像・低分散分光サーベイ・シミュレーション 大山陽一 (ASIAA)	13:54	R33a ALMAでのNGC 1068 中心部の分子の観測: 100 GHz帯の分子の分布 高野秀路 (国立天文台)
10:06	R24a 赤外線天文衛星Herschelと「あかり」で探る楕円銀河のダストの起源 金田英宏 (名古屋大学)	14:06	R34a ALMAでのNGC 1068 中心部の分子の観測: 340 GHz帯の分子の分布 中島 拓 (名古屋大学)
10:18	R25a 近傍高光度赤外線銀河におけるバルジの構造と星形成活動の関係 館内 謙 (東京大学)	14:18	R35a ALMAでのNGC1068 中心部の分子の観測: 高密度ガスの物理状態診断 谷口暁星 (東京大学)
10:30	R26a 近傍銀河NGC 3079 中心領域のアンモニア分子吸収線観測 宮本祐介 (筑波大学)	14:30	R36a ALMAでのNGC 1068 中心部の分子の観測: GMAスケールでみた ¹³ CO, C ¹⁸ O, CS, CH ₃ OH輝線の特徴 濤崎智佳 (上越教育大学)
10:42	R27a Observations of the Molecular Gas in M82 Salak Dragan		
10:54	R28a Probing the evolution of merger remnants through formation of cold molecular gas disks Junko Ueda (Univ. of Tokyo/NAOJ)		
11:06	R29a ALMA Cycle 0における近傍赤外線銀河の高密度分子ガスの観測 今西昌俊 (国立天文台)		
11:18	R30a 近傍銀河NGC 1097のALMA Cycle0データによる巨大ブラックホール質量推定 大西響子 (総合研究大学院大学)		

S. 活動銀河核

9月10日(火) 午前・B会場		9月10日(木) 午後・B会場	
11:00	S01a ブレーザー天体における二次フェルミ加速粒子からの放射モデル 格和 純 (広島大学)	15:00	S12a 電波銀河 3C 84 ジェットにおける二重稜線構造の発見 永井 洋 (国立天文台)
11:12	S02a MAGIC 望遠鏡と同時多波長観測によるFSRQ天体 PKS 1510-089 の研究 齋藤浩二 (東京大学)	15:12	S13a M87 ジェット最深部での磁場と相対論的電子のエネルギー密度比 紀 基樹 (宇宙航空研究開発機構)
11:24	S03a MAGIC 望遠鏡を用いたブレーザー Mrk501 の高エネルギーガンマ線フレアの多波長観測 野田浩司 (Max-Planck Institute for Physics)	15:24	S14a 多周波位相補償 VLBI 観測によるソンプレロ銀河 (M104, NGC4594) 中心核 100 シュバルツシルト半径スケールの構造探査 秦 和弘 (国立天文台 / イタリア電波天文学研究所)
11:36	S04a フェルミ衛星による TeV FSRQ 候補 PMN J2345-1555, PKS 0507+17 の観測 田中康之 (広島大学)	15:36	S15a TeV ブレーザー Mrk 421 の静穏期における電波コアのふらつき探査 新沼浩太郎
11:48	S05a ガンマ線で検出されたブレーザーの可視光変動研究 笹田真人 (京都大学)	15:48	S16b VLBA-43GHz で捉えたブレーザー Mrk 501 のジェット深部の微細構造 小山翔子 (東京大学)
12:00	S06a ブレーザー S5 0716+714 の多波長観測による時間変動解析 浦野剛志 (広島大学)	15:48	S17b GENJI/VERA によるブレーザー OJ287 の VLBI モニター観測 澤田 - 佐藤聡子
12:12	S07a 電波強度の強い狭輝線 1 型セイファート銀河 RX J0134.2-4258 のすざくによる観測 高橋宏明 (大阪大学)	15:48	S18b 光結合 VLBI を用いた電波で暗い AGN の探査 藤永義隆 (山口大学)
12:24	S08a Narrow-line Seyfert 1 型銀河 PMN J0948+0022 における分スケールでの可視偏光変動観測 伊藤亮介 (広島大学)	16:00	S19a 光度変動の統計的性質を利用したキューサーマイクロレンズ現象の抽出 米原厚憲 (京都産業大学)
12:36	S09b Radio-loud Narrow-line Seyfert 1 Galaxies の可視偏光観測 深沢泰司 (広島大学)	16:12	S20b SDSS quasar の可視紫外域光度変動の統計的性質 小久保充 (東京大学)
12:36	S10b 逆コンプトン赤外線を探るコクーンに潜む相対論的熱的電子 川勝 望 (呉工業高等専門学校)	16:12	S21b MAXI によるセイファート銀河の X 線光度変動の調査 上野史郎 (宇宙航空研究開発機構)
12:36	S11b ダブルピーク電波銀河 Arp102B のレバレーションマッピング観測による RIAF 構造の解明 中尾 光 (北海道大学)	16:12	S22b 短基線 VLBI による Sagittarius A* の 2013 年事象の観測 II : 最初の4ヶ月の結果 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)

16:24	S23a	NICT 鹿島 - 小金井基線 VLBI システムによる Sgr A* 強度モニター観測 竹川俊也 (慶應義塾大学)	9月11日(水) 午前・B会場
16:36	S24a	銀河系中心 Sgr A* に接近するガス雲 G2 と高温降着流の相互作用 : 3次元磁気流体シミュレーションによるフレア予測 川島朋尚 (上海天文台)	09:30 S27a 活動銀河核のセントラルエンジンの理解に向けて 牧島一夫 (東京大学)
	S25c	Centaurus A 銀河中心 100 pc スケール以下における物質降着過程及び物質分布 Minju Lee (東京大学)	09:42 S28a IC4329A における時間変動を用いたモデル依存しない手法による成分分解 三宅克馬 (東京大学)
	S26c	EVLA Observations of Water Maser Emission in the merging galaxy NGC 6240 萩原喜昭 (国立天文台)	09:54 S29a 「すざく」で調べる活動銀河核セントラルエンジンからの硬 X 線信号 野田博文 (東京大学)
			10:06 S30a Variable Partial Covering モデルによる狭輝線セイファート I 型銀河 1H0707-495 のスペクトル変化の解釈 水本岬希 (東京大学, ISAS/JAXA)
			10:18 S31a NGC1365 の Fe-K 吸収線の時間変化と硬 X 線観測 深沢泰司 (広島大学)
			10:30 S32a AGN アウトフローの変動傾向およびその起源について 三澤 透 (信州大学)
			10:42 S33a 活動銀河核におけるラインフォース駆動型円盤風の輻射流体シミュレーション 野村真理子 (お茶の水女子大学 / 国立天文台)
			10:54 S34a Kinetic mode feedback: Radio galaxies and UFOs Alexander Wagner (筑波大学)
			11:06 S35b 降着円盤起源の鉄輝線強度へ円盤の幾何学的厚みが与える影響 川口俊宏 (山口大学)
			11:06 S36b ASTRO-H 衛星搭載 SXS 検出器で観測される活動銀河の吸収線スペクトルのシミュレーション 日野出悦三郎 (愛媛大学)
			11:06 S37b 突発天体 Swift J1644+57 の再バースト予測 II: 潮汐破壊星による質量供給率の時間変化を考慮した輻射流体シミュレーション 川島朋尚 (上海天文台)

T. 銀河団

U. 宇宙論

9月12日(木) 午前・H会場		9月10日(火) 午前・G会場	
09:30	T01a 宇宙線加速が銀河団のエントロピー分布に与える影響 藤田 裕 (大阪大学)	11:00	U01a インフレーションによる宇宙磁場生成と曲率ゆらぎ 藤田智弘 (東京大学 /Kavli IPMU)
09:42	T02a 「すざく」による衝突初期の銀河団 GIZA J1358.9-4750 の観測 加藤佑一	11:12	U02a POLARBEAR 実験における CMB 偏光 B モード探索の現状 長谷川雅也 (高エネルギー加素粒子原子核研究所)
09:54	T03a Perseus 銀河団のガスの運動の測定 田村隆幸 (宇宙航空研究開発機構)	11:24	U03a 弱非線形領域における赤方偏移ゆがみを用いた重力理論の検証法 樽家篤史
10:06	T04a フェニックス銀河団とその中心銀河の Type 2 QSO の X 線観測 (II) 上田周太郎 (大阪大学)	11:36	U04a SDSS LRG 非等方クラスタリングを用いた $f(R)$ 重力理論に対する制限 岡アキラ (東京大学)
10:18	T05a 「すざく」で観測された AWM7 銀河団外縁部の方向依存性と鉄の分布 横田佳奈 (東京理科大学)	11:48	U05a 銀河団のガス分布観測を用いた修正重力モデルの検証 照喜名歩 (広島大学)
10:30	T06a 「すざく」衛星によって観測されたケンタウルス座銀河団の重元素分布と鉄質量 - 銀河光度比 阿部雄介 (東京理科大学)	12:00	U06a 重力レンズと銀河の固有速度を用いた修正重力理論への観測的制限 浅羽信介 (名古屋大学)
10:42	T07a 「すざく」による M87 の重元素分布の観測 (2) 飯島律子 (首都大学東京)	12:12	U07a 弱重力レンズ効果によるボイドの内部質量分布測定 樋口祐一 (東京大学)
10:54	T08a 「すざく」による銀河団プラズマの化学的進化の研究 下田優弥 (埼玉大学)	12:24	U08a Impacts of satellite galaxies in measuring the cosmic growth rate 日影千秋 (名古屋大学)
11:06	T09a Investigation of Interactions Between the Hot Plasmas and Galaxies in Clusters IV GU LIYI (Univ. of Tokyo)	12:36	U09a 非線形重力進化による非局所ハローバイアス 斎藤 俊 (東京大学)
11:18	T10a X 線および SZ 効果観測を用いた銀河団質量推定の信頼性 須藤大地 (東京大学)	12:48	U10b スカラー場の崩壊とインフレーション 中道晶香 (京都産業大学)
		12:48	U11b 有限の質量の粒子に崩壊する暗黒物質による Planck anomalies の説明可能性について 青山尚平 (名古屋大学)
		12:48	U12b 相対論的 Sitnikov 3 体問題 荒木田英禎 (日本大学)

	<p>U13c Quantum Theory on Quantization Sheaves 中山薫二 (龍谷大学)</p> <p>U14c 崩壊する暗黒エネルギーモデルに対する WMAP 9 year からの制限 中村理央 (久留米工業大)</p> <p>U15c 精密宇宙論に向けた Lagrange 的摂動論の応用 立川崇之 (福井大学)</p> <p>U16c ダークマター分布におけるボイドを用いた幾何学的宇宙論 鄭 昇明 (東京大学)</p>	<p>16:24 U24a FastSound 計画の初期成果 : $z \sim 1.3$ における銀河マップの作成と RSD 効果の検出 舎川元成</p> <p>16:36 U25a FastSound 計画における輝線検出効率の検証 岡田裕行 (京都大学)</p> <p>16:48 U26a 宇宙膨張論の検証XXI 空間膨張宇宙ならば (2) ドップラー効果だけなら $z < 1.72$ 阿武靖彦</p> <p>17:00 U27a 宇宙の直径と宇宙の質量について 小堀しづ</p> <p>17:12 U28b 宇宙の形 小堀しづ</p> <p>U29c 泡構造の運動 小堀しづ</p>
9月10日(火) 午後・G会場		
15:00	U17a 初期磁場による構造形成モデル 渋谷雄希 (名古屋大学)	
15:12	U18a 暗黒物質の運動学的脱結合が物質密度揺らぎの成長に与える影響 鎌田歩樹	
15:24	U19a CFHTLenS データを用いた重力レンズカタログとモルフロジー統計 白崎正人 (東京大学)	
15:36	U20a サブハロー質量関数を用いた暗黒物質の質量に対する制限 黒川拓真 (東京大学)	
15:48	U21a 重力レンズ効果解析におけるランダムカウントノイズの影響 大倉悠貴 (国立天文台)	
16:00	U22a Gravitational lensing shear by an exotic lens object with negative convergence or negative mass 泉 洗次 (弘前大学)	
16:12	U23a Observational Upper Bound on the Cosmic Abundances of Negative-mass Compact Objects and Ellis Wormholes from the Sloan Digital Sky Survey Quasar Lens Search 高橋龍一 (弘前大学)	

V1. 地上観測機器

9月10日(火) 午前・F会場	9月10日(火) 午後・F会場
11:00 V101a ALMA の建設(19)と運用(3) 井口 聖 (国立天文台)	15:00 V113a ALMA ACA 7m アンテナ主鏡の鏡面誤差日周変動 山田真澄(国立天文台/日本工業大学)
11:12 V102a ALMA システム性能評価活動の進捗 II 杉本正宏 (国立天文台)	15:12 V114a The ALMA Science Archive: Functions and Applications Erik Muller (National Astronomical Observaotry of Japan)
11:24 V103b Processing of the ALMA Array Elements 浅山信一郎 (JAO/ 国立天文台)	15:24 V115a JVO による ALMA データ配信サービス：進捗状況 川崎 渉 (国立天文台)
11:24 V104b ALMA 偏波観測機能のシステム評価活動報告 永井 洋 (国立天文台)	15:36 V116b ALMA コミッショニング：New Capabilities グループ活動報告 澤田剛士 (JAO/ 国立天文台)
11:24 V105b ALMA 偏波観測機能の科学評価活動報告(4) 中西康一郎 (国立天文台)	15:36 V117c ALMA コミッショニング：ACA 及び ACA 相関器 鎌崎 剛 (JAO/ 国立天文台)
11:36 V106a ALMA：干渉計位相補正の現状と課題(2)：アンテナ高速スイッチング Phase-Referencing による位相補正 朝木義晴(宇宙航空研究開発機構)	15:36 V118b ALMA キューブデータ閲覧用ウェブビューアの開発 江口智士 (国立天文台)
11:48 V107a ALMA 3 km ベースラインでの位相変動 松下聡樹(台湾中央研究院天文及天文物理研究所)	15:36 V119b サブミリ波カメラの極低温集積回路の自動制御計測システムの開発 渡辺動太(東邦大学)
12:00 V108a ALMA 観測サイトにおけるキャリブレーション用信号源 その3 木内 等 (国立天文台)	15:48 V120b 南極 10m テラヘルツ望遠鏡計画 瀬田益道(筑波大学)
12:12 V109a 電波分光観測の効率化 IV - 高感度スプリアス検出と抑圧 亀野誠二	15:48 V121b 南極 10 m テラヘルツ望遠鏡ヘテロダイン受信機系の概念設計 菅谷元典(筑波大学)
12:24 V110a アルマのデータ結合：手法と実際 小麥真也(国立天文台)	15:48 V122b 南極用小型冷却受信機熱設計の高精度検証 長崎岳人(筑波大学)
12:36 V111a ALMA パイプラインの概要とその開発状況 三浦理絵(国立天文台)	16:00 V123a 周波数変調局部発振器による新しいミリ波サブミリ波分光法：II. 野辺山 45m 望遠鏡における周波数変調受信システムの開発 田村陽一(東京大学)
12:48 V112a ALMA 単一鏡データ解析パイプラインの開発 中里 剛(国立天文台)	16:12 V124a 野辺山 45m 電波望遠鏡に搭載する新マルチビーム受信機「FOREST」開発の進捗 5 馬路博之(大阪府立大学)

16:24	V125b 野辺山 45m 望遠鏡受信機 FOREST 用広帯域デジタル分光計の開発 直井隆浩 (鹿児島大学)	10:06	V137a 導波管フィルターを用いた 100GHz 帯 新方式 SSB ミクサの開発 長谷川 豊 (大阪府立大学)
16:24	V126b 野辺山 45 m 電波望遠鏡搭載 45 GHz 受信機 (Z45) の開発 岡田 望	10:18	V138a 水沢 10m 電波望遠鏡システムの衛星 データ取得に向けた改良 III 亀谷 収 (国立天文台)
16:24	V127b 野辺山 45 m 電波望遠鏡 45 GHz 帯 受信機 (Z45) のアンテナ搭載試験 米倉覚則 (茨城大学)		V139c OCTAVE-DAS を用いた広帯域 VLBI 観測システムの構築 小山友明 (国立天文台)
16:36	V128a ソフトウェア偏波分光計 PolariS の開 発 II 水野いづみ	10:30	V140b Imaging demonstration of stellar masers with KVN+VERA 今井 裕 (鹿児島大学)
16:48	V129b ソフトウェア偏波分光計 PolariS の開 発 III - GPU を用いた分光処理 亀野誠二	10:30	V141b 86GHz 帯円偏波ポーライザーの開発 Soon Kang Lou (茨城大学)
16:48	V130b テラヘルツ波超伝導受信機のための 冷却黒体デューワーの開発 堀内洸介 (大阪府立大学)	10:30	V142b 山口 32 m 電波望遠鏡搭載 6.5-8.8 GHz 帯冷却受信機の開発 木村篤志 (山口大学)
16:48	V131b きゃらばん・サブミリ、2013 年秋 -- 移動実証装置の開発 1 三好 真 (国立天文台)	10:42	V143a 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備 状況 (9) 米倉覚則 (茨城大学)
	V132c ミリ波望遠鏡の安価な製作法について の考察 5 光学系 春日 隆 (法政大学)	10:54	V144a DSN による X/Ka 帯 (8.4/32 GHz) 電 波参照基準系の構築 堀内真司 (CSIRO, Canberra Deep Space Communication Complex)
17:00	V133b 空気シャワーから放射されるマイクロ 波の探索 大田 泉 (甲南大学)	11:06	V145b 広帯域フィードの開発 (V) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
9月11日(水) 午前・F会場		11:06	V146b VLBI2010 用光学系の計算および広帯 域クワッドリッジアンテナの近傍界測定 木村公洋 (大阪府立大学)
09:30	V134a 量子光学的手法の天体観測への応用 について 松尾 宏 (国立天文台)	11:06	V147b GLT 搭載用 230GHz 帯両円偏波受信 機の開発 長谷川 豊 (大阪府立大学)
09:42	V135a 超伝導ホットエレクトロンボロメータミク サ素子のモデルの開発 前澤裕之 (大阪府立大学)	11:18	V148a 1.85m 電波望遠鏡プロジェクトの開発 進捗 (VI) 徳田一起 (大阪府立大学)
09:54	V136a 受信器の大口径化にむけた電波透過 性多層断熱材の開発 田島 治 (高エネルギー加速器研究機構)		V149c 1.85m 電波望遠鏡の開発 : RPG XFFTS 分光計を用いた試験観測 西村 淳 (大阪府立大学)

V2. 地上観測機器

9月11日(水) 午前・G会場		9月11日(水) 午後・G会場	
09:30	V201a 国立天文台岡山 188cm 望遠鏡の改修 I: 全体像 泉浦秀行 (国立天文台)	11:06	V214b 近赤外多天体分光カメラ SWIMS における多天体分光ユニットの開発 高橋英則 (東京大学)
09:42	V202b 国立天文台岡山 188cm 望遠鏡の改修 II: 駆動系・制御系 黒田大介 (国立天文台)	11:06	V215b 近赤外多天体分光カメラ SWIMS における面分光ユニットの開発 北川祐太朗 (東京大学)
09:42	V203b 国立天文台岡山 188cm 望遠鏡の改修 III: ドーム制御系 神戸栄治 (国立天文台)	11:06	V216b TAO6.5m 用近赤外多天体分光カメラ SWIMS のための検出器評価試験 西嶋颯哉 (東京大学)
09:42	V204b 国立天文台岡山 188cm 望遠鏡の改修 IV: 光学系支持機構 筒井寛典 (国立天文台)	11:18	V217b miniTAO/ANIR による TAO サイトの赤外線観測性能の評価 小西真広
09:54	V205a 国立天文台岡山 188cm 望遠鏡の改修 V: 改修効果の評価 福井暁彦 (国立天文台)		
10:06	V206a 東京大学木曾観測所 105cm シュミット望遠鏡の制御系改修について 青木 勉 (東京大学)	13:30	V218a ハワイ・ハレアカラにおける超高分解能赤外ヘテロダイン分光器 中川広務 (東北大学)
10:18	V207b ひとみ望遠鏡の現状と性能評価 溝口小扶里 (仙台市天文台)	13:42	V219a 近中間赤外線用大型 CdZnTe 製イメージンググレーティングの光学評価 池田優二 (京都産業大学/ フォトコーディング)
10:18	V208b 西はりま天文台「なゆた望遠鏡」の運用 伊藤洋一 (兵庫県立大学)	13:54	V220b 近中間赤外線イメージンググレーティング用光学材料の吸収係数精密測定 加地紗由美 (京都産業大学)
10:18	V209b 岡山天体物理観測所・近赤外広視野カメラの試験観測 2 柳澤顕史 (国立天文台)	13:54	V221b 近赤外線高分散分光器「WINERED」: サイエンスグレードアレイの導入と性能評価 中岡哲弥 (京都産業大学)
	V210c 光赤外線大学間連携事業による IRSF へのガンマ線バースト即時観測システムの導入とその初期観測結果 永山貴宏 (名古屋大学)	13:54	V222b 可視赤外線同時カメラ HONIR: 分光機能搭載と試験観測 秋田谷洋 (広島大学)
10:30	V211a 京大岡山 3.8m 望遠鏡計画: 全体の進捗 長田哲也 (京都大学)	14:06	V223b 南極 2.5m 赤外線望遠鏡計画 市川 隆 (東北大学)
10:42	V212a TAO 計画の進捗 吉井 讓 (東京大学)	14:06	V224b 南極天文観測のための物資輸送機の振動測定 香川博之 (金沢大学)
10:54	V213a TAO6.5m 望遠鏡用第一期観測装置 SWIMS, MIMIZUKU の開発進捗 本原顕太郎 (東京大学)	14:06	V225b 9m- 天文観測架台の圧雪地盤基礎造成と不同変位観測 金 高義 (国立極地研究所)

		9月12日(木) 午前・G会場
14:18	V226a 南極大陸内陸高原・ドームふじ基地で観測された極めて薄い接地境界層：高さ 16 m 沖田博文（東北大学）	09:30 V236a 地球型惑星検出のためのすばる赤外線ドップラー分光器 IRD の開発：6 小谷隆行（国立天文台）
14:30	V227b 南極大陸内陸高原・ドームふじ基地で観測された地球上最良の自由大気シーイング：0.2 秒角 沖田博文（東北大学）	09:42 V237a ULTIMATE-SUBARU：概念設計報告 早野 裕（国立天文台）
14:30	V228b 南極大陸内陸高原・ドームふじ基地で観測された全天カメラの画像解析 小山拓也（東北大学）	09:54 V238a ULTIMATE-SUBARU：地表層補償光学系シミュレーション III 大屋 真（国立天文台）
14:30	V229b チベットロボット三色撮像カメラ：HInOTORI プロジェクト 内海洋輔（広島大学）	10:06 V239a すばる望遠鏡搭載に向けた 8 分割位相マスクコロナグラフの開発 (II) 押山史佳（北海道大学）
14:42	V230a TMT 計画—その全体状況 家 正則（国立天文台）	10:18 V240a 京大 3.8m 望遠鏡における補償光学系の開発 夏目典明（京都大学）
14:54	V231a TMT 計画 - 超大型望遠鏡本体の基本設計・検討 白田知史（国立天文台）	10:30 V241a 極限補償光学のための新しい波面計測装置の開発 松尾太郎（京都大学）
15:06	V232a TMT 第一期観測装置 IRIS 撮像系の開発 I. 全体状況とアストロメトリの検討 鈴木竜二（国立天文台）	10:42 V242b 北大惑星用補償光学系の開発：計画の概要 渡辺 誠（北海道大学）
	V233c TMT 第一期観測装置 IRIS の開発（機械駆動系のプロトタイプ実証） 大淵喜之（国立天文台）	10:42 V243b 北大惑星用補償光学系の開発：面光源用ピンホール波面センサの実証試験 仲本純平（北海道大学）
15:18	V234b TMT 可視光分光撮像装置 MOBIE カメラレンズシステムの概念検討 尾崎忍夫（国立天文台）	10:42 V244b 京都産業大学 1.3m 望遠鏡における小型屈折光学系補償光学装置の開発 北尾栄司（京都産業大学）
15:18	V235b TMT Exposure Time Calculator の開発 橋本哲也（国立天文台）	V245c EMCCD カメラ搭載 VTOS によるスペククル観測とデータ処理 桑村 進（北見工業大学）
		10:54 V246b 多天体補償光学のためのトモグラフィック推定の広視野化 大野良人（東北大学）
		10:54 V247b サバール板シアリングナル干渉計の開発：観測性能向上に向けた検討 喜藤寛文（北海道大学）
		10:54 V248b 波面センサ情報を用いる太陽AO観測像の改善 三浦則明（北見工業大学）

		9月12日(木) 午後・G会場
	V249c 上空波面センサの開発と太陽観測への適用 三浦則明(北見工業大学)	13:30 V255a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告(5) 窪 秀利(京都大学)
11:06	V250a 太陽可視観測用補償光学装置, 光学ベンチの設計・製作 仲谷善一(京都大学)	13:42 V256a CTA 大口径望遠鏡カメラ開発(2) 山本常夏(甲南大学)
11:18	V251b 狭帯域チューナブルフィルターの開発(II) 木村剛一(京都大学)	13:54 V257a CTA 大口径望遠鏡の分割鏡の開発(5) 林田将明(東京大学)
11:18	V252b 太陽フレア望遠鏡赤外ポラリメータ偏光信号クロストーク除去と偏光較正管理 森田 諭(国立天文台)	14:06 V258a CTA 大口径望遠鏡読み出し回路の開発(5) 増田 周(京都大学)
11:18	V253b 円形度を用いた宇宙線ノイズ除去手法の構築 坂本 強(日本スペースガード協会)	14:18 V259a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA: 全体報告 阿久津智忠(国立天文台)
	V254c データ解析環境“SLLIB-1.4”+“SFITSIO-1.4”の開発・公開 山内千里(国立天文台/宇宙航空研究開発機構)	14:30 V260a KAGRA 用防振装置の開発(2) 高橋竜太郎(国立天文台)
		14:42 V261a KAGRA 低温装置の設計・製作・性能評価 東谷千比呂(東京大学)
		14:54 V262a Hilbert-Huang 変換を用いた重力波データ解析手法の開発 高橋弘毅(長岡技術科学大学)

W1. 飛翔体観測機器

9月11日(水) 午前・J会場		9月11日(水) 午後・J会場	
09:30	W101a X線偏光観測衛星 GEMS の現状と PolariS との協力 玉川 徹 (理化学研究所)	10:42	W113b すざく衛星搭載の X 線 CCD カメラ XIS における 1/4 window option 付データのゲイン補正方法の確立 吉留大貴 (宮崎大学)
09:42	W102a X線ガンマ線偏光観測小型衛星 PolariS : 開発の現状と今後の見通し 林田 清 (大阪大学)	10:54	W114a 宇宙進化を探る硬 X 線観測衛星 FFAST の現状 常深 博 (大阪大学)
09:54	W103b 小型衛星 PolariS 搭載用 X 線散乱イメージング偏光計の開発 III 定本真明 (大阪大学)	11:06	W115a FFAST 衛星搭載 SD-CCD 素子の放射線耐性 薙野 綾 (大阪大学)
09:54	W104b PolariS 搭載用ガンマ線バースト偏光度検出器の基礎開発 -MAPMT の性能評価 片桐 惇 (山形大学)	11:18	W116b FFAST 衛星搭載硬 X 線検出器のバックグラウンド評価 穴吹直久 (大阪大学)
09:54	W105b X線気球観測実験 X-Calibur の現状 佐治重孝 (名古屋大学)	11:18	W117b 次世代衛星搭載 CCD カメラ用アナログ ASIC の開発 井上翔太 (大阪大学)
10:06	W106b 全天 X 線監視装置搭載 X 線 CCD カメラ (SSC) のデータ公開 富田 洋	11:18	W118b 新構造のガスギャップ式熱スイッチの製作と評価 星野晶夫 (立教大学)
10:06	W107b MAXI/SSC データを用いた突発天体発見のためのシステム改良 福島康介 (日本大学)	W119c 超小型衛星を利用した継続的な理学的挑戦 錦沢秀太郎 (首都大学東京)	
10:06	W108b CALET 搭載ガンマ線モニタ (CGBM) の観測性能と速報データ公開 中平聡志 (宇宙航空研究開発機構)		
10:18	W109a Wide-Field MAXI に搭載される広天域軟X線カメラ (SLC) の開発状況 木村 公 (宇宙航空研究開発機構)	13:30	W120a PoGOLite 気球実験 : 2013 年のパスマインダーフライト 高橋弘充 (広島大学)
10:30	W110a Wide-Field MAXI 搭載の硬 X 線モニター (HXM) の開発 有元 誠 (東京工業大学)	13:42	W121a 宇宙硬 X 線偏光検出器 PoGOLite 気球実験の地上較正試験 河野貴文 (広島大学)
10:42	W111b 「すざく」衛星搭載 X 線カロリメータ検出器 XRS を用いた非 X 線バックグラウンドの検証 安田哲也 (埼玉大学)	13:54	W122a MeV ガンマ線全天探査に向けた第二次気球実験 SMILE-II 計画 水村好貴 (京都大学)
10:42	W112b すざく衛星に搭載された X 線 CCD カメラ XIS における NXB 強度の時間変動の調査 尾崎駿介 (宮崎大学)	14:06	W123a MeV ガンマ線天体観測に向けた電子飛跡検出型コンプトンカメラ開発 水本哲矢 (京都大学)
		14:18	W124a エマルションガンマ線望遠鏡による宇宙ガンマ線観測計画 GRAINE 高橋 覚 (神戸大学)

		9月12日(木) 午前・J会場
14:30	W125a ASTRO-H 搭載用 軟 X 線望遠鏡 1 号機 (SXT-1 FM) の地上性能評価 富川和紀 (首都大学東京)	09:30 W136a ASTRO-H 搭載精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 (X) 田代 信 (埼玉大学)
14:42	W126a ASTRO-H 搭載軟 X 線望遠鏡の望遠鏡特性の評価 佐藤寿紀 (首都大学東京)	09:42 W137a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の波形処理機器 PSP の開発の現状 (VII) 山口 直 (埼玉大学)
14:54	W127a ASTRO-H 搭載軟 X 線撮像検出器 SXI の開発の現状 村上弘志 (東北学院大学)	09:54 W138a ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の開発の現状 VI 粟木久光
15:06	W128a ASTRO-H 衛星搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) の地上較正実験とそれに用いる X 線発生装置の製作 信川久実子 (京都大学)	10:06 W139a ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) 2 号機の性能評価 黒田祐司 (名古屋大学)
15:18	W129b ASTRO-H 搭載 SXI(Soft X-ray Imager) 用 CCD 素子のスクリーニング 中嶋 大 (大阪大学)	10:18 W140a ASTRO-H 衛星搭載硬 X 線撮像検出器 (HXI) の現状～ FM 製造の現状と予想性能～ 中澤知洋 (東京大学)
15:18	W130b ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) の軟 X 線応答 佐々木将軍 (大阪大学)	10:30 W141a ASTRO-H 搭載軟ガンマ線検出器コンプトンカメラ・エンジニアリングモデルの性能評価 古井俊也 (広島大学)
15:18	W131b ASTRO-H 搭載 X 線 CCD (SXI) の軟 X 線帯域の検出効率の測定 宮川賢人 (工学院大学)	10:42 W142a ASTRO-H 衛星搭載型アクティブシールド系の受け入れ試験及び動作検証 徳田伸矢 (広島大学)
15:30	W132b 放射線損傷した P チャネル CCD で取得したデータに対する CTI 補正の実効性の検証 武吉 司 (宮崎大学)	10:54 W143a X 線望遠鏡の大有効面積化に向けた多層膜スーパーミラーの開発 立花 献 (名古屋大学)
15:30	W133b Astro-H 搭載 X 線望遠鏡 SXT/HXT のアラインメント計測 飯塚 亮 (宇宙航空研究開発機構)	11:06 W144a HXD/GSO のバックグラウンドの新しい評価 鈴木大朗 (立教大学)
15:30	W134b ASTRO-H 搭載 X 線望遠鏡用プリコーメータのフライト品製作 森 英之 (名古屋大学)	11:18 W145a SpaceWire を用いた X 線 CCD 転送方法の研究 梅津里香 (立教大学)
15:42	W135b 宇宙科学研究所 新ビームラインの測定精度 林 多佳由 (宇宙航空研究開発機構)	

W2. 飛翔体観測機器

9月12日(木) 午後・J会場	9月10日(火) 午前・J会場
13:30 W146a ガンマ線バーストを用いた初期宇宙探査計画 HiZ-GUNDAM の進捗状況 (High-z Gamma-ray bursts for Unraveling the Dark Ages Mission) 米徳大輔 (金沢大学)	11:00 W201a ロケット実験 CIBER ー 第4回(最終) 実験報告 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)
13:42 W147a ダークバリオン探査ミッション DIOS の開発状況 大橋隆哉 (首都大学東京)	11:12 W202a ロケット実験 CIBER-2 ー 開発状況の報告 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)
13:54 W148a DIOS 搭載用4回反射型X線望遠鏡 FXT の開発の現状 滝澤峻也 (名古屋大学)	11:24 W203b CIBER/LRS の黄道光観測による感度較正及び系統誤差の評価 大西陽介 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:06 W149a 次世代X線望遠鏡のための CFRP ミラーフォイルの開発 杉田聡司 (愛媛大学)	11:24 W204b 太陽 Ly α 線偏光分光観測ロケット実験 CLASP 用に開発した主鏡支持機構の振動試験 坂東貴政 (国立天文台)
14:18 W150a 炭素繊維強化プラスチック基板への反射膜成膜とその性能評価 岩瀬敏博 (名古屋大学)	11:24 W205b 太陽 Ly α 線偏光分光観測ロケット実験 CLASP の高効率反射型偏光解析素子の開発 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)
14:30 W151a 曲がった Si 結晶反射鏡のX線及び可視光反射集光評価 泉谷喬則 (中央大学)	11:36 W206a 気球搭載型遠赤外線干渉計 FITE : 次期フライト計画と高強度フレームの開発 芝井 広 (大阪大学)
14:42 W152a X線干渉計で使う反射鏡と半透膜の特性評価 小川修三 (立教大学)	11:48 W207a 遠赤外線干渉計 FITE: 新干渉計調整機構の開発 佐々木彩奈
14:54 W153a SOI 技術を用いた次世代におけるX線衛星用完全空乏裏面照射型素子の開発 松村英晃 (京都大学)	12:00 W208a 次世代赤外線天文衛星 SPICA: リスク低減フェーズ2の進行 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)
15:06 W154a 突発X線・ γ 線天体検出用カメラの開発 小谷太郎 (早稲田大学)	12:12 W209a SPICA の科学運用を支える地上系の検討状況について 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)
15:18 W155a コンプトンカメラ画像再構成への統計的アプローチ 小高裕和 (宇宙航空研究開発機構)	12:24 W210a Highly sensitive far-IR superconducting Edge Sensor array development for the SAFARI instrument onboard SPICA 土井靖生 (東京大学)
	12:36 W211a SPICA MCS Filter Working Group の活動進捗報告 左近 樹 (東京大学)

12:48	W212a SPICA コロナグラフ装置 (SCI) の現状 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	16:00	W224a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD における系統誤差の研究 III 永田 竜 (高エネルギー加速器研究機構)
	W213c SPICA 望遠鏡搭載に向けた瞳遮蔽対応コロナグラフマスクの実証 樋香奈恵 (宇宙航空研究開発機構)	16:12	W225b LiteBIRD 衛星光学系の設計 木村公洋 (大阪府立大学)
13:00	W214b SPICA 搭載観測装置 — EMC の検討状況 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)	16:12	W226b RadioAstron スペース VLBI (2) : Key Science Program への移行 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)
9月10日(火) 午後・J会場			W227c 気球 VLBI ミッションの検討 土居明広 (宇宙航空研究開発機構)
15:00	W215a Nano-JASMINE と小型 JASMINE の全体的進捗状況 郷田直輝 (国立天文台)		W228c 気球 VLBI 搭載機器の検討 河野裕介 (国立天文台)
15:12	W216b 小型 JASMINE の熱・構造の検討 矢野太平 (国立天文台)	16:12	W229b 高コントラスト観測のための3次元波面測定装置の実証実験 木田学武 (北海道大学)
15:12	W217b 小型 JASMINE 実現のためのクリティカルな検討課題の技術実証 V 丹羽佳人 (国立天文台)	16:24	W230a 系外惑星直接撮像のための高コントラスト光学系の研究・初段補償光学による干渉計内部の波面補正 堀江正明 (日本大学 / 国立天文台)
15:12	W218b 小型 JASMINE の迷光解析と迷光実測実験 鹿島伸悟 (国立天文台)		
	W219c Nano-JASMINE 衛星の開発 : 完全空乏型 CCD のピクセル応答関数 II 小林行泰		
	W220c 小型 JASMINE で拓くサイエンス 辻本拓司 (国立天文台)		
15:24	W221a Nano-JASMINE データ解析ソフトウェアの性能評価 山田良透 (京都大学)		
15:36	W222a 超小型赤外線位置天文衛星 Nano-JASMINE で用いる星像中心位置決定法の精度評価 2 原 拓自 (東京大学)		
15:48	W223a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (23) 安東正樹 (東京大学)		

X. 銀河形成

9月11日(水) 午前・D会場		9月11日(水) 午後・D会場	
09:30	X01a GPUを用いた輻射輸送シミュレーションの高速化 田中 賢 (筑波大学)	13:30	X14a SDSS stripe 82における低赤方偏移クエーサー母銀河の性質 松岡良樹 (Princeton University/NAOJ)
09:42	X02a Density Independent Formulation of SPH 斎藤貴之 (東京工業大学)	13:42	X15a Various Molecular Gas Responses toward the Mid-stage Merger VV114 齊藤俊貴 (東京大学 / 国立天文台)
09:54	X03a 初代星の質量について 須佐 元 (甲南大学)	13:54	X16a 赤方偏移 ~ 0.8 の「あかり」赤外線銀河の金属量測定 大井 渚 (宇宙航空研究開発機構)
10:06	X04a 初代星は銀河ハローのどこにいるのか? 須藤佳依 (甲南大学)	14:06	X17a 赤外線天文衛星「あかり」で探る、星形成史の環境依存性 村田一心 (宇宙航空研究開発機構)
10:18	X05a 銀河系近傍宇宙で種族 III 星を探す 小宮 悠 (国立天文台)	14:18	X18a $z \sim 1.4$ の星形成銀河におけるガス・ダスト比への制限 世古明史 (京都大学)
10:30	X06a 三次元非一様化学進化モデルの構築と亜鉛の起源 荒尾幸絵 (国際基督教大学)	14:30	X19a 隣接した狭帯域フィルターで描き出す赤方偏移 1.46 の銀河団の 3 次元構造 林 将央 (東京大学)
10:42	X07a ダークマターハローの質量密度構造から探る観測的経験則 扇谷 豪	14:42	X20a $H\alpha$ 輝線銀河で探る遠方銀河の星形成率-星質量関係とその環境依存性 小山佑世 (国立天文台)
10:54	X08a 系外銀河ハロー内にある中間質量ブラックホールの重力的直接撮像 井上開輝 (近畿大学)	14:54	X21a 銀河団環境における早期型銀河の星質量とサイズの増加 大木 平
11:06	X09b AKARI 全天カタログを用いた銀河分布のパワースペクトル解析 鈴木智子 (名古屋大学)		X22c Spectrum Energy Density から探る銀河形成と進化 貴田寿美子 (早稲田大学)
11:06	X10b $z \sim 1$ 星形成銀河内部の星形成領域の分解 増田貴大 (東北大学)	15:06	X23b SEDS/UDS 領域で検出された $K-[3.6]$ で赤い銀河について 馬渡 健 (東北大学)
11:06	X11b Subaru/FMOS survey of star-forming galaxies at $z \sim 1.6$ in COSMOS (F-COSMOS): $H\alpha$ -based star formation rates and dust extinction 柏野大地 (名古屋大学)	15:06	X24b 広領域探査と構造形成モデルで明かす初期宇宙の銀河形成 内藤嘉章 (東京大学)
11:18	X12b MOIRCS による、 $z=2-5$ の 3 原始銀河団候補領域に対する撮像観測 田中 壱	15:06	X25b 内部紫外線・背景紫外線が及ぼす銀河進化への影響 鈴木裕行 (筑波大学)
11:18	X13b SSA22 領域におけるサブミリ波銀河の性質: IV. PdBI によるサブミリ波高分解能観測 梅畑豪紀 (東京大学)		

15:18	X26b 宇宙再電離過程の解明に向けた Ly α Emitter 理論モデルの開発 小林正和 (愛媛大学)	9月12日(木) 午後・D会場
	X27c The cosmological galaxy formation model in the far IR and sub-mm: Predictions for ALMA and SPICA 真喜屋龍 (東京大学)	
15:18	X28b Dust Evolution and Population III-II Transition in Young Galaxies 山澤大輔 (東北大学)	
9月12日(木) 午前・D会場		
09:30	X29a 銀河の減光曲線進化モデルの構築 浅野良輔 (名古屋大学)	
09:42	X30a 巨大 Ly α 輝線ガス雲を伴う電波銀河周辺環境の定量化: “On-going cannibalism of dark haloes at $z \sim 4$ ”? 斎藤智樹 (東京大学)	
09:54	X31a Faint End of 1.3 mm Number Counts Revealed by ALMA 廿日出文洋 (京都大学)	
10:06	X32a Discovery of a group of [CII] emitters at $z=5.7$ 五十嵐創 (東京大学)	
10:18	X33a 赤方偏移 6 における原始銀河団探査 利川潤 (総合研究大学院大学)	
10:30	X34a $z=7.3$ Ly α Emitters の Ly α 光度関数で探る宇宙再電離 今野彰 (東京大学)	
10:42	X35a 赤外線天文衛星「あかり」による宇宙近赤外線背景放射スペクトル 津村耕司 (宇宙航空研究開発機構)	
10:54	X36a 遠方ガンマ線バーストの電波・サブミリ波・赤外残光放射の再考 井上進 (Max-Planck-Institut für Kernphysik/ 東京大学)	
13:30	X37a 紫外線フィードバックが再電離期の銀河や銀河間物質に与える影響 長谷川賢二 (筑波大学)	
13:42	X38a ミリ波・サブミリ波観測と数値シミュレーションで探る星生成銀河 早津夏己 (東京大学)	
13:54	X39a ALMA による赤方偏移 8 超銀河の遠赤外星雲輝線検出の可能性 井上昭雄 (大阪産業大学)	
14:06	X40a Physical Properties of UDF12 Galaxies in Cosmological simulations 清水一紘 (大阪産業大学)	
14:18	X41a Galaxy stellar mass functions obtained by cosmological simulations 岡本崇	

Y. 天文教育・その他

9月10日(火) 午前・E会場			
11:00	Y01a 公開講座 48年の実践 篠原信雄(駿台学園中学高等学校)	12:48	Y13b 天文分野を対象とした自主学習型解析体験教材の開発Ⅱ 伊藤信成(三重大学)
11:12	Y02a 日本の教科書における日食の扱いの変化について 塩田淳悟(大阪教育大学)	12:48	Y14b Mitaka-3Dを使ったペルーにおける天文教育 根本しおみ(ペルー地球物理研究所/国立ムツミ・イシツカプラネタリウム)
11:24	Y03a ヒロにおける高校生向け国際天文研修の試み 林 左絵子(国立天文台)		Y15c 「わあ不思議！」で終わらない天文教材開発～木星衛星周期・光速導出～ 貴島政親(和歌山大学)
11:36	Y04a 星空案内人資格認定制度の新しい運営体制と今後のプラン 柴田晋平(山形大学)	9月10日(火) 午後・E会場	
11:48	Y05a 九州大学における星空案内人資格制度を利用した教育活動 藤原智子(九州大学)	15:00	Y16a 日本の宇宙科学の黎明期の調査—幻のL-4Sロケット6号機 阪本成一(宇宙航空研究開発機構)
	Y06c 和歌山大学12mアンテナを用いた天文教育の試み 佐藤奈穂子(和歌山大学)	15:12	Y17a 仙台市天文台—リニューアルからの5年間— 溝口小扶里(仙台市天文台)
12:00	Y07a 大規模観測による科学教育プログラムとサイエンス; パンスターズ彗星からアイソン彗星へ 大西浩次(国立長野高専)		Y18c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(2) 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)
12:12	Y08a アイソン彗星など天文現象等の参加型ウェブキャンペーンの連携実施とその評価 縣 秀彦(国立天文台)		Y19c 第14回ライトダウン甲府バレー2012における夜空の明るさ測定結果 小野間史樹(星空公園)
12:24	Y09a スマートフォンを用いた「月の満ち欠け」教材の開発 富田瑞穂(大阪教育大学)	15:24	Y20a ラングミュア乱流中を運動する相対論的電子からの放射スペクトル 寺木悠人(大阪大学)
12:36	Y10b コンパクトデジカメ・携帯電話等による土星の簡易撮影法の実践 矢動丸泰(紀美野町みさと天文台)	15:36	Y21a GRB 130427A: パースト本体の特徴、および残光への遷移の観測 坂本貴紀(青山学院大学)
12:36	Y11b ミラーレス一眼デジカメを用いた簡易分光観測の授業実践 原 正(埼玉県立豊岡高等学校)		
12:36	Y12b 小型望遠鏡による太陽観測の自動化 野澤 恵(茨城大学)		

2013年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	宮田隆志	(東京大学)
委員	久保雅仁	(国立天文台)
	左近樹	(東京大学)
	佐藤文衛	(東京工業大学)
	鈴木知治	(東京大学)
	田中邦彦	(慶應義塾大学)
	寺田幸功	(埼玉大学)
	土居明広	(宇宙航空研究開発機構)
	峰崎岳夫	(東京大学)
	中道晶香	(京都産業大学) 保育室担当

年会開催地理事

山田 亨 (東北大学)